



言語を学ぶ、 世界を広げる



言語を学ぶ、世界を広げる

SUAC 外国語履修のためのブックレット

序文

虹の色は何色 (なんしよく)? 何色 (なにいろ)? ~外国語学習への招待~ 1

SUACでの外国語履修チャート 3

いろいろな言葉で自己紹介してみよう 4

各言語紹介

中国語 6

韓国語 8

インドネシア語 10

ポルトガル語 12

イタリア語 14

フランス語 16

ドイツ語 18

英語 20

英語ディプロマ・コース 22

座談会

「わたしはこうやって日本語を学んだ」SUAC外国人教員による座談会 24

「わたしはこうやって外国語を学んだ」SUAC日本人教員による座談会 34

まだまだあるぞ、外国語

トルコ語、ベトナム語 46

学生による学生のための「外国語ノススメ」～先輩はこうやって勉強した～

英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、ポルトガル語、インドネシア語、韓国語、中国語 48

虹の色は何色(なんしょく)? 何色(なにいろ)?



外国語学習への招待

この表題をみただけで、ああ、あの話か、と推測のつく人もいるかもしれません。虹の色がいくつに見えるかは、数える人の母語によって異なるという「例の話」です。「虹は七色」と数える日本も古来は五色としており、七色というのは西洋由来の新知識である。沖縄では二色。アメリカの小学生は Roy G. Biv なる架空の「人名」で red, orange, yellow, green, blue, indigo, violet の「七色」を覚える。(もっともシーハン先生にお聞きしたところ、彼の生まれ育ったマサチューセッツでは、このような覚え方はなかったそうです。) フランス、ドイツ、中国では五色、ジンバブウェのショナ語では三色、リベリアのバッサ語では二色等々と、虹の色の数え方やとらえ方の違いが、言語や民族による文化の差異の証左の例としてしばしば挙げられます。虹は何色なのか、科学的には連続するスペクトルであり何色かは決め難い。それを何色と見るかは、言語、文化という人の主観にかかわるというのです。

その人が話す言語がその人の世界に対する認識や理解の仕方を規定するのではないかという言語観は、これを提唱した言語学者エドワード・サピアと、その弟子でもあった人類学者ベンジャミン・ウォーフの名を冠し「サピア=ウォーフの仮説」として広く知られています。言語が違えば世界の認識の仕方も違ってくるということから、いささかもものしいのですが「言語相対説」(linguistic relativism) という呼ばれ方をされることもあります。ある事典は「言語相対説」の項で「母語によって、その話者の思考や概念のあり方が影響を受けるといふ仮説。言語が異なれば認識や経験の仕方が異なるとされる。言語が文化の形式を規定する、という議論のされ方もある。また『サピア=ウォーフの仮説』(Sapir-Whorf hypothesis) としてもほぼ同義で知られている。さらにこれを強く推し進めて、人間の思考や認識のあり方を言語が決定することを強調し、『言語決定論』(linguistic determinism) と呼ぶこともある」という説明をしています。

そういわれてみれば、たとえば、「肩こり」という語彙を持たない母語で育った人が日本に来て、「肩こり」という言葉を覚えた途端に肩こりを感じるようになった、という話を何度か聞いたことがあります。言語はその人の身体感覚にも影響を与えるのでしょうか。トラの色は日本人なら黒と黄色、アメリカ人だと黒とオレンジになるとも聞きます。動物の鳴き声も犬は「バウワウ」なのだと教えられれば、ああそうかなと聞こえてきそうです。聴覚はまちがいに母語の影響を受けそうですが、その表記は発話者の耳すら時に欺きます。日本語の「案内」(あんない) と「案外」(あんがい) を口にしてみて、その同じ「ん」の音が異なっていることに気づいている人がどれほどいるでしょうか。知覚だけではありません。「思考は言語の溝に沿って走る」と表現したのはサピア





でした。ウォーフはインド＝ヨーロッパ系言語の構造に内包された時間、空間概念がニュートン力学の母胎なのだとして主張し、文化のみならず科学的認識も言語構造の影響を強く受けると唱えました。

私たちは言語という「色眼鏡」で世界を眺めるため、世界はその色に染まって見えるのでしょうか。この仮説には異論、疑義が多々寄せられております。言語がそれを使う人の世界観を強制的に決定づけるというのは、明らかに行き過ぎた主張でしょう。しかし、何らかの影響を与えることは明らかであり、全面的な肯定も否定もできないというのがほぼ通説のようです。

本学ではコミュニケーション、上級、応用と言語教育のいくつかのステージが用意されております。在学中にいくつかの言語を「かじる」程度であったとしても、「サピア＝ウォーフの仮説」をもって論ずれば、それぞれの言語が持つ独特の「色世界」を少し体験することにも通じるはずで、それがどのように彩られた世界なのか、ちょっとだけのぞき見できる「窓」が、本ブックレットにはそれぞれの言語を担当する先生方によって用意されています。そして「扉」を開き、これらの外国語の習得に果敢に挑んでいる先輩たちの体験談も収録されております。体験談のいずれからも「世界がちょっと違って見える」知的興奮が行間を通じて伝わってきます。先輩たちの努力や工夫に学び、ぜひ新しい外国語の世界に飛び込んでください。さらに日本ではつい「異色の」言語と思われがちですが、話者人口からすれば世界的にみて決して「珍しくはない」ベトナム語とトルコ語の紹介が巻末に収められています。言語が彩る世界の広がりを知るよすがになればと思います。

福沢諭吉は江戸に出てきたとき、それまで一生懸命に学んだオランダ語がまるで通じず、世界は英語の時代になっていたことを知り、ひどく落ち込みます。すでに24歳になっていました。しかしそこから気を取り直し、ゼロから学んでこの「新しい外国語」をものにしました。

そのあたりの話は『福翁自伝』に詳しくとても面白いのですが、負けず劣らず読んで楽しいのが本冊子に収められたSUACの「達人」たちの討論会です。「達人」のなかには諭吉より5歳も年上の29歳になって初めて日本語に接し、見事にものにした「猛者」もおります。福沢は『文明論之概略』緒言で、幕末明治を生きた自分を「恰も一身にして二生を経るが如く、一人にして両身あるが如し」と表現しました。この福沢の言にサピア＝ウォーフの仮説を重ねてみれば、外国語を「ものにした」人たちは、あたかも「一身にして二つの世界を生きるがごとし」といえないでしょうか。外国語を「かじる」「感じる」だけでも十分な意義があると思いますが、このブックレットを導きの糸にしてそれを「ものにする」域に達し、何色にも彩られた「両身あるが如き」豊かな人生を送られる諸君が輩出することを祈念いたします。

2011年4月

編集を代表して 馬場孝



SUACでの外国語履修チャート

	1年次		2年次		3年次		4年次
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
英語	コミュニケーション I・II	コミュニケーション III・IV	上級 I・II	上級 III・IV			
	マルチメディア I	マルチメディア II					
			ビジネス I	ビジネス II			
英語ディプロマコース			グレード I	グレード II	グレード III	グレード IV	
中国語	コミュニケーション I・II	コミュニケーション III・IV	上級 I・II	上級 III・IV	応用 I	応用 II	
韓国語	コミュニケーション I・II	コミュニケーション III・IV	上級 I・II	上級 III・IV			
インドネシア語			インドネシア語 I・II	インドネシア語 III・IV			
ポルトガル語	コミュニケーション I・II	コミュニケーション III・IV	上級 I・II	上級 III・IV	応用 I	応用 II	
ドイツ語	コミュニケーション I・II	コミュニケーション III・IV					
イタリア語			イタリア語 I・II	イタリア語 III・IV			
フランス語	コミュニケーション I・II	コミュニケーション III・IV	上級 I・II	上級 III・IV	応用 I	応用 II	

科目の色分けは

全学共通科目

学部共通科目

学科専門科目

- 該当する学年次から履修することができます。
例えば、1年に中国語コミュニケーションを履修しなくても、2年の前期から履修することができます。
(但し、後期にI、IIを履修することはできません。)
- 外国語は1科目1単位です。但し、英語ディプロマコースは1科目2単位。
- 卒業のための単位として、全学共通科目の1つの言語で、必ず4単位取得してください。
- 国際文化学科では1言語8単位以上(英語に限りません)、
または2言語各4単位以上(例えば英語+アルファ)の外国語履修を推奨しています。
- 国際文化学科の専門科目でも、新しい外国語あるいは継続しての外国語の学びにチャレンジしてください。

いろいろな言葉で自己紹介してみよう

外国語を習い始めてまず覚えるのは、「こんにちは」、そして「ありがとう」。この表現は各言語紹介ページ本文の最初と最後にのっています。挨拶を覚えたら自分のことを少し話してみましょう。以下のフレーズに自分の名前を入れて口にしてみてください。

何となく文の構造が見えてきますね。日本語と仕組みが同じ外国語もあります。また、同じ仲間の外国語は単語もよく似ているのに気がつくでしょう。



こんにちは、ミカです。大学生です。浜松に住んでいます。

中国語：汉语

你好。我叫美嘉。

ニーハオ ウオジェオ メイジアー

我是大学生。

ウオ シー ダーシュエション

住在浜松。

ジュウザイ ビンソン



韓国語：한국어

안녕하세요. 미카입니다 (미카예요).

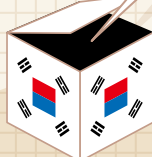
アンヨンハセヨ ミカイムニダ (ミカエヨ)

대학생입니다 (대학생이에요).

デハクセンイムニダ (デハクセンイエヨ)

하마마츠에 살고있습니다 (하마마츠에 살고있어요).

ハママツエ サルゴイッスムニダ (ハママツエ サルゴイツヨ)



インドネシア語：Bahasa Indonesia

Selamat siang, saya Mika.

スラマツ シアン サヤ ミカ

Saya mahasiswi.

サヤ マハシスウィ

(男性の場合) Saya mahasiswa.

サヤ マハシスワ

Saya tinggal di Hamamatsu.

サヤ テインガル デイ ハママツ





ポルトガル語 : Português

Bom dia, eu me chamo Mika.

ボン ジア エウ メ チャモ ミカ

Sou estudante.

ソウ エスツダンテ

Moro em Hamamatsu.

モロ エン ハママツ

イタリア語 : Italiano

Buongiorno, mi chiamo Mika.

ブオンジョルノ ミ キアーモ ミカ

Sono studentessa.

ソノ ストゥデンテッサ

(男性の場合) Sono studente.

ソノ ストゥデンテ

Abito a Hamamatsu.

アービト ア ハママツ



フランス語 : Français

Bonjour, je m'appelle Mika.

ボンジュール ジュマペル ミカ

Je suis étudiante.

ジュ スユイ エテュディアント

(男性の場合) Je suis étudiant.

ジュ スユイ エテュディアン

J'habite à Hamamatsu.

ジャビットゥ ア ハママツ (アママツ)



ドイツ語 : Deutsch

Guten Tag! Ich bin Mika.

グーテン ターク イッヒ ビン ミカ

Ich bin Studentin.

イッヒ ビン シュトゥデンティン

(男性の場合) Ich bin Student.

イッヒ ビン シュトゥデント

Ich wohne in Hamamatsu.

イッヒ ヴォーネ イン ハママツ



イントネーションや日本語にない音節があるため、発音は難しいと言われます。しかし、日本人学生が早い時期から学習してきた英語から中国語と似たような発音を借りれば、発音の要領は比較的容易にマスターできます。また、基礎文法の学習についても、英語や日本語と同じ部分もあるため、ある意味では英語や日本語の文法知識が一助になります。

達成度を確認するために、授業の一環として中国語検定の問題を授業に取り入れます。1年目終了の時点では4級、2年目終了時点では3級、応用クラスを履修した学生は2級を目標とします。本学では毎年中国での語学研修も実施しています。履修生の積極的な参加を勧めます。

どう使える？ 怎样运用？

言語は何よりもコミュニケーションの手段です。中国語を身につければ、中国大陸はもちろんのこと、台湾・香港・シンガポールでも使えます。日中の経済関係が深まる今日において、中国語を使う機会はますます増えるに違いありません。謝謝（シェイシェイ）！（孫江）



1972年に中国政府が日本に贈った二匹のパンダは亡くなったが、2011年、東京上野動物園が新パンダを迎える。

学習のためのおすすめ情報

・ 読書案内

- 1) 『論語』。人間関係を構築するコツを教える書物。
- 2) 『唐詩』。自由奔放の個性を謳歌する李白の詩はとくにおすすめ。できれば『莊子』をあわせて読んでほしい。
- 3) 『故郷』（魯迅）。現代人の苦悩を物語る小説。

・ 映画

- 1) 『三国志』連続テレビドラマ。中国政治を理解する最良の映画。

- 2) 国際的名監督張芸謀の映画。彼の映画はオリエンタリズム的色彩を帯びていますが、中国の過去と現在を知るために見る価値はあります。『紅高粱(紅いコーリャン)』（1986年）、『秋菊打官司(秋菊の物語)』（1992年）、『HERO(英雄)』（2002年）、『千里走単騎(単騎、千里を走る。)'』（2005年）

・ 中国語学習サイト：

<http://www.zaich.com>

* 答え

日本語：①おでん、②うどん、③サントリービール。

英語：① hacker (ハッカー)、② Coca-Cola (コカ・コーラ)、③ Starbucks (スターバックス)。

韓国語を学ぶ人のために

どんな言語？ 어떤 언어일까？

안녕하세요 (アンニョンハセヨ)？現在、世界中の6000余りの言語のうち、韓国語を母語とする人口は世界13位の言語です。韓国語は日本語と似ており、その最大の特徴は、語順が主語・目的語・述語(SOV)の順であることです。韓国語を表記する文字を「ハングル」といいます。ハングルは、それまで使われていた漢文が言葉とその構造が異なる文字体系であったため、一般庶民が容易に習得できないことを案じ、朝鮮の第4代国王・世宗大王によってつくられた文字です。世宗大王は1443年に韓国語の表記に適切な文字体系を完成し、1446年に「訓民正音」(「訓民正音」とは一般庶民を教え導く正しき音の意)と命名し広めました。後に、これがハングルと呼ばれます。ハングルはとても合理的につくられ、1997年ユネスコ世界記録遺産に登録されています。またユネスコでは毎年、世界の識字率向上に著しい貢献をした人を選び、「世宗賞」を授与しています。文字をもたないアフリカの諸国ではハングルを文字として採用する国も現れています。



慶尚北道河回村の村祭り(仮面劇)

どんな授業？ 어떤 수업일까？

韓国語のみならず外国語を習うには、それなりの覚悟と、かなりの時間を投入しないとなりません。そのため授業は必ず出席する必要があります。韓国語は文字さえ覚えれば半分習得したのも同然だといわれます。それはハングルが現在、子音14と母音10の組み合わせによって、1万を超える音節文字をつくるからです。このしくみさえ覚えれば、意味はわからなくても読むことはできるという、とても便利な文字です。そのため、この学習過程を繰り返し、丁寧かつ確実にしなければなりません。1年次はがむしゃらにとにかく口に出して覚え、韓国語を好きになることです。助詞の運用、挨拶、数字を覚えることが中心です。上級では文の構造や文法にも注意を払い、挨拶や自己紹介ができ、読み書きができることを目指します。

どうやって学ぶ？ 어떻게 배울까？

興味をなくさないように、まずはこつこつと口に出して読む練習を何回も繰り返して行います。この練習をしながら単語をひとつずつ確実に覚えていきます。これと並行して、ラジオやテレビのハングル講座も積極的に利用してください。また本学には韓国の協定校である湖西大学から交換留学生も来ているので、彼らや彼女らとの日本語と韓国語の交換学習もお勧めします。韓国語版ドラマやホームページの情報を読むのもいいでしょう。

また日本では、韓国語学習の達成度を測るための韓国語能力試験や世界韓国語認証試験などの能力検定試験があります。これらは韓国企業や官公庁などの就職や昇進の際に、あるいは韓国の大学や語学研究の際に資料として活用されることもあります。とくに、短期間に韓国語を習得したい人は、協定校の湖西大学校への交換留学を大いにお勧めします。4カ月の留学で日常会話はらくらく話せるようになります。

どう使える？어떻게 사용될까？

日本でもっとも手軽に安価で行ける外国といえば韓国です。逆に韓国からもっとも多い海外渡航国が日本です。したがって、お互いの国の言葉を使う機会が身近に存在しており、実用性からすると韓国語は使用頻度が非常に高い言葉だといえます。さらに、戦前の韓国人は植民地という苦い経験から、日本語が話せる人が少なくありません。また1980年代半ば以降の日本語ブームによって日本語を話せる・話したい若者も増えています。近年には韓国における日本の大衆文化の解放と、日本における韓流ブームに伴い、両国の交流は急増しています。こうしたことがさらに韓国語の実用性を高めています。

他方、日韓両国の言葉には同じ発音のものや似ている発音のものも多く、それぞれに微妙なニュアンスをもつ単語があって、両国の言葉を混ぜて話すと絶妙な表現となります。韓国語を話せることは韓国文化をも理解する

ことになり、ひいては日本語の特徴を理解することにつながり、さらに日本文化の特徴を理解することにもつながります。감사합니다 (カムサハンムニダ)！

(林在圭)



韓国のブルゴギ（焼肉）とビビンバ

学習のためのおすすめ情報

・読書案内

①金兩基 1984 『ハンゲルの世界』中央公論社、②宮島博史 1995 『両班』中央公論社、③古田博司 1999 『悲しみに笑う韓国人』筑摩書房、④鄭大聲 2000 『焼肉・キムチと日本人』PHP 晋書、⑤四方田犬彦 2000 『われらが〈他者〉なる韓国』平凡社、⑥四方田犬彦 2001 『ソウルの風景』岩波新書
・「HAN STYLE」：韓国の伝統文化（ハンゲル・韓食・韓服・韓屋・韓紙・韓国音楽）を紹介しているサイト <http://www.han-style.com/index.jsp>

・映画（歴代興行ベスト15）

①怪物（2006）、②王の男（2006）、③太極旗（2004）、④SILMIDO（2004）、⑤友達（2001）、⑥ウエルカムトゥ Dongmaxgol（2005）、⑦D-WAR（2008）、⑧タチャ（2006）、⑨美女は大変（2006）、⑩SHIRI（1999）、⑪共同警備区域 JSA（2000）、⑫家門の危機-家門の栄光2（2005）、⑬殺人の追憶（2003）、⑭組織暴力団の妻（2001）、⑮家門の栄光（2002）。これらの映画はとくに「386世代」（1990年代に年齢が30代で、80年代に大学へ通い、60年代生まれの世代）と呼ばれる監督たちによってつくられたという特徴があります。

・韓国料理

①キムチ（김치）：キムチは白菜・大根・胡瓜等を発酵させて作る漬物、韓国の食卓には欠かせないおかずのひとつ。②ビビンバ（비빔밥）：ご飯の上に野菜や卵、肉などを色鮮やかに盛り付け、それを混ぜてから食べる人気ナンバー1の韓国グルメ。③ブルゴギ（불고기）：薄切りにした牛肉や豚肉をヤンニョムという特製のタレに漬け込んでから焼いたもの。④サムゲタン（삼계탕）：ひな鶏の腹部にもち米や高麗人参、ナツメなどを入れ長時間煮込んだ滋養強壯のスープ。⑤冷麺（냉면）：そば粉やでんぷんで作った麺に特徴がある韓国冷麺は、あっさりしたスープで食べる「スープ冷麺」と、調味されたコチュジャン（唐辛子味噌）に混ぜて食べる「混ぜ冷麺」があります。⑥ヘームルトン（해물탕）：各種海産物を辛目のスープで煮込んで食べる海鮮鍋。⑦キムチチゲ（김치찌개）：発酵がすすみ少し酸っぱくなったキムチを使って作る鍋料理。⑧ダッカルビ（닭갈비）：鶏肉や野菜、春雨などを特製の唐辛子タレで甘辛く炒めて食べる料理。⑨ソルロタン（설렁탕）：牛肉を10時間以上煮込んだ白いスープ。⑩カルビタン（갈비탕）：牛のあばら肉と大根を入れ長時間煮込んだスープ。

インドネシア語を学ぶ人のために

どんな言語？ *Bahasa yang bagaimana ?*

Selamat siang (スラマツト・シアン)！「バハサ・インドネシア」(Bahasa Indonesia) と呼ばれるインドネシア語及び同系統のマレーシア語は、インドネシアをはじめ、マレーシア、シンガポール、タイ南部、ブルネイ、東ティモールなど各国で、国語や公用語として使用されている東南アジア有数の言語です。日本人にとって馴染みの薄い言語ですが、日本でも使われている言葉があります。例えば日本語の「オランウータン」は、インドネシア語で「人」を意味するオラン (orang) と「森」を意味するウタン (hutan) が合わさり「森の人」オラン・ウタン (orang hutan) から来ています。このようにインドネシア語はアジア系言語でありながらアルファベット表記であること、発音が大部分子音に母音が伴うため、ほぼローマ字読みすればよいことなど日本人にとっては取り組みやすい外国語と言えます。さらに基本的な語順は、英語のように主語＋動詞＋目的語です。例えば「あなたはコーヒーを飲みます」(Anda minum kopi) は、アンダ (あなた) ＋ ミナム (飲む) ＋ コピ (コーヒー) となります。



ジャワ島中部にあるプランバナン寺院遺跡群 (8-10 世紀頃)

どんな授業？ *Kuliah yang bagaimana ?*

いくら取り組みやすい言語だからと言って、1 年間でマスターできません。むしろこの授業は、そのための基礎を提供し「やれるんだ」という自信をもってもらうことを目指しています。授業は文法解説と会話練習からなり、授業が進むに従いテーマ別発表、作文、読解が加わ

ります。しかしインドネシア語の学習期間は1年のみです。つまり基礎文法習得に前後期を費やしては、前期末より始まるテーマ別発表 (挨拶程度の小会話を超える) や作文、後期に行うインドネシア国内小中学校国語教科書掲載エッセイの読解などに支障を来します。そこで、授業は必要に応じ弾力的に進めます。文法の解説は出来るだけ前期に重点を置き、前期の終わり頃より会話や作文に比重を移し、後期からは読解を加えた授業となります。レベル的には、学習期間が短いため、簡単な日常会話ができる、辞書を用い小中学校レベルのエッセイを読んで理解できる、自己紹介に始まり、趣味、友達、大学生活、バイト、旅行などトピックに応じて簡単な文章を作り発表が出来ることなどを目指します。

他方こうした授業と平行し、ビデオ、DVD などを用いインドネシアに関する映画、ドラマ、ドキュメンタリーを鑑賞します。何と言っても自分が学ぶ国と人々に関する知識を得ることは重要ですし、外国語学習を離れその国を楽しむ雰囲気は不可欠です。

どうやって学ぶ？

Bagaimana caranya belajar ?

外国語授業は何語であれ欠席すると、分からなくなります。ですから必ず出席してください。特に前期では、テキストの文法解説を自宅で復習し、自分のものにするのが重要です。そのために課題や小テストを適宜課します。インドネシア語は前述の通り、当初より文法がシンプルなので取り組みやすい言語ですが、反面そうであるからこそ単語をたくさん覚えていかないと、作文や発表につまずいてしまいます。どれだけ多くの単語を早く覚え、使えるか、これにより受講者各人の上達度が違ってきます。前期末より後期にかけては、基礎文法で学んだことを応用していくために、単語の習得が見逃せません。ところが少数言語のインドネシア語は、主要外国語に比べ、初学者に適当な辞書が入手しづらい状況にあります。授業ではインターネット上で利用可能な辞書サイトを含め、必要な情報を提供します。会話については、出来ればネイティブとの会話を教室を離れてトライすることも良いでしょう。浜松は研修や留学の形でインドネシア人が暮らす街ですし、都市間交流も行われていま

す。それら交流事業やNPOが主催する現地短期語学研修プログラムなどへの参加を通じた語学力アップも可能です。

またインドネシア語習得レベルを確認したい場合、インドネシア語検定があります。英検などに比べるとまだまだ知られていませんが、客観的に知るためのツールとして有効です。さらにインドネシア語が履修できる大学による学生を対象とするインドネシア語弁論大会も、最近になり日本国内で行われるようになりました。授業ではこれら関係情報を積極的に提供し、希望者には個別に対応します。



バリ島ブラタン湖畔にあるヒンドゥー寺院、ウリンダヌ寺院

どう使える？

Bagaimana penggunaan bahasanya ?

ところで、インドネシア語は在日インドネシア人を除くと、一体どこで使われているのでしょうか。インドネシアにとって日本は輸出入において、EU、中国、米国と並ぶ主要な貿易相手国です。日本にとってインドネシアは石油／天然ガスなどエネルギー輸入において主要な供給国であると同時に、その位置が中東から日本への石油輸送ルートにあるなど極めて重要な国と言えます。このような事情を反映し、日本はインドネシアに対する最大の政府開発援助供与国です。直接投資では第3位(2008年)であり、現在インドネシア国内で操業する日系企業は1000社に上ります。また人気観光スポットのバリ島は、多くの日本人に知られています。2008年以降は経済連携協定の発効に伴い、インドネシアから看護師／介護福祉士候補者が毎年来日、全国各地の病院や介護施設

で活躍する若者たちの姿がメディアで報じられるようになりました。

2008年はちょうど日伊国交樹立50周年に当たり、文化、芸術、スポーツなどの分野において様々な交流イベントが両国で実施され、以後関係は深まりつつあります。その結果、重要なアジア系言語の1つとして、その存在感は着実に向上しています。マスメディア、援助機関、地方自治体、裁判所、検察庁、警察など民間企業とは別に、インドネシア語を駆使して活躍する場も次第に増えてきました。英語に加えプラス・アルファの外国語能力が求められる今日、インドネシア語の習得を考えてみませんか。Terimakasih (トゥリマカシ)！

(深尾康夫)

学習のためのおすすめ情報

・WEBサイト

「浜松インドネシア友好協会」

<http://indonesiakyoukai.hamazo.tv/>

浜松市を中心にインドネシアとの交流を育んでいる団体です。地域で行われる交流イベントなどの情報をキャッチできます。

「サンガル・バハサ・インドネシア」

<http://homepage3.nifty.com/sanggar/newpage1.htm>

インドネシア語学習総合サイトです。インドネシア語能力をチェックする簡単なテスト、辞書サイトの紹介、インドネシア国内メディアへのアクセス情報などがあります。

「ミボ・テレビ」

<http://mivo.tv/>

国内で主要な民放テレビ局9社のライブ放送が、インターネットを通じ常時楽しめます。最初から理解するのは無理ですが、まずはCMを見てインドネシア語の雰囲気だけでも味わってください。



ポルトガル語を学ぶ人のために

どんな言語？

Quais são as características da língua portuguesa?

Bom dia (ボン・ジア)！ポルトガル語はポルトガルをはじめ、ブラジル（南米）、アンゴラ、モザンビークなど（アフリカ）を含め、世界で8カ国の公用語であり、約2億人が母語としています。ちなみに、ブラジルの人口は1億8千万人であることを考えると、世界でポルトガル語が最も多く話されているのはブラジルです。

一方、日本国内で話されている外国語のうち、ポルトガル語は母語として最も多く話されている言語の一つです。その根拠は、日本に在住する外国人のうち、ブラジル人は中国人（60万）と朝鮮・韓国人（59万）に次いで、3番目（31万）に多いグループであることと、ほとんどのブラジル人は過去20年の間に来日して、ほぼ全員がポルトガル語を母語としているからです。また、浜松市に焦点を当てると、外国人住民の約3万人中、ブラジル人は約1万5千人であり、ポルトガル語は最も多く話されている外国語であることが言えます。ですから、ポルトガル語を学ぶと、ブラジル人が集住する地域では、日常的に生のポルトガル語を聞き、仕事や日常生活で活かせるチャンスが多くあります。

言語としては、同じイベロ・ロマンス語であるスペイン語と非常に近い言語です。また、フランス語やイタリア語ともかなり似ています。

どんな授業？

Como são as aulas de língua portuguesa?

本学でポルトガル語を学ぶ学生には、3年間で日常会話はもちろん、新聞などを読む力を身につけてくれることを期待しています。そのため、最初から基本的な文法に力を入れています。ポルトガル語の文法は、たとえば、主語によりすべての動詞の活用が必要であったり、名詞には女性名詞と男性名詞の区別があったり、といった細かい規則が多くあります。しかし、一旦それらのルールを理解すれば、自分で辞書を引き、ポルトガル語の勉強がより速く、より楽しくなります。そして、毎回の授業でとにかく新しい語彙を習得していきます。



浜松市内のブラジル人コミュニティ
2007年クリスマスパーティー

1年目には、「ポルトガル語コミュニケーション」のクラスで、まずポルトガル語に慣れてもらいます。そこで、基本的な語彙、文法、そして簡単な会話に力を入れます。2年目は「ポルトガル語上級」で、会話も現在形、過去形、未来形など時制を取り入れ、幅広く会話ができるように努めます。そして、3年目には「ポルトガル語応用」で、新聞や雑誌を読むと同時に、自らポルトガル語での表現（話す、書く）ができるようにがんばってもらいます。

どうやって学ぶ？

Como estudar a língua portuguesa?

1・2年目は教科書を基に授業を進めます。とは言え、生のポルトガル語を身につけるため、教師は独自のプリントや資料を準備し、学生が勉強についていけるように工夫します。

できるだけ楽しみながら学べるような環境を作りますが、本当に語学を身につけたければ地道に勉強を続ける必要があります。そのため、毎週、宿題をこなしていくのが一番ですが、そのほかにポルトガル語で発行されている新聞や雑誌に目を通し、自分が学んだ語彙を探したり、辞書を使いながら文章を読んだりして勉強をしていきます。また、映像を使い、ポルトガル語の聞き取りをする授業もあります。つまり、「話す、読む、書く、聞く」力をバランスよく学び、ブラジル人とポルトガル語でコ

コミュニケーションが取れることを目標にしています。

どう使える？

Onde e como utilizar a língua portuguesa?

外国語を学ぶことは、言語にかかわらず、自分の考え方やものの見方を広げること間違いありません。つまり、グローバルな視野を持つことができ、様々な視点から物事を理解することが培われます。

ポルトガル語に関しては、外国（ポルトガル、ブラジルなど）で使うことはもちろんですが、日本国内でも様々な都市で身近に使うことができます。たとえば、浜松市は、日本でブラジル人人口が最も多い都市です。そのため、日常的に電車やバス、またスーパーや病院などでポルトガル語を耳にすることが珍しくない状況です。コンビニやスーパーでアルバイトをしていて、客として来るブラジル人とポルトガル語で話すチャンスはとて多いです。そして、特に卒業後の就職先がサービス業であれば、ポルトガル語を知っていれば、プラスになるは

ずです。また、小・中学校でも、ブラジル出身の同級生がいたという人は少なくないと思いますが、今後もポルトガル語ができる教員が望まれていることは確かです。Obrigado (オブリガード) !

(イシカワ エウニセ アケミ)



浜松市内のブラジルのパン屋
(パン屋さんができるほど市内にはブラジル人が多い)

学習のためのおすすめ情報

参考資料は授業中に紹介しますが、ブラジルの情報などは以下のサイトをお勧めします

・東京ブラジル大使館 ー文化、外交、貿易、観光など (ポルトガル語・英語・日本語)。

<http://www.brasemb.or.jp/portugues/index.html>

異文化を知るのに、その国の料理を試すのが一番！幸い、ブラジル料理は、日本でも気軽に食べられます！ぜひ一度食べてみてください。そして、ポルトガル語で注文をしてみましょう。

・東京のブラジル料理レストランのリスト

<http://www.e-food.jp/cgi-bin/restfind/view.cgi?fo=br>

・東京以外のブラジル料理レストランのリスト
<http://e-food.jp/cgi-bin/restfind/view.cgi?fo=br&z=3>

静岡県浜松市内の主なブラジルレストラン
(アルファベット順)

・Choupana ショウパーナ

<http://choupana.three-count.com/>

・Servitu セルヴィトゥー

<http://r.tabelog.com/shizuoka/A2202/A220201/22000167/>

・Tertullia テルトゥーリア

<http://e-food.jp/cgi-bin/restfind/view1.cgi?no=7110425>

イタリア語を学ぶ人のために



シチリア島パレルモのカテドラーレ

どんな言語？ *Che tipo di lingua?*

Ciao a tutti (チャオ ア トゥッティ)！まずみなさんが考える外国語とはなんですか。外国語＝英語と思いきや、こんでしまっていないでしょうか。本当に世界は英語中心なのか、担当教員と共にイタリア語を学びながら考えてみましょう。「案外そうでもない、英語以外の言葉も大切だ」と感じてもらえるはずです。

実用性はありません。国でいえばイタリアとスイスの一部でしか話されていません。一方で芸術と文化を名にもつ大学には欠かせない言語でしょう。美術や音楽を学ぶ人たちの共通語はイタリア語です。それらの芸術がイタリアで生まれているからです。あるいはサッカー、ファッション、料理に興味をもつ人たちもイタリア語を話します。それらの文化がイタリアを中心に展開しているからです。こうしたさまざまな分野を知るためにイタリア語はたしかな道具となるでしょう。

どんな授業？ *Che tipo di lezione?*

2年生以上の学生が、1年を通して週2コマ学ぶことができます。前期、後期とも、その2コマは連日となります（水木あるいは火水といったように）。ですから一

週間のうちイタリア語を学ぶタイミングは集中しています。集中して学ぶ、覚えることになるでしょう。

授業はミニテストからはじまります。会話に使えるフレーズを家で暗記してきてもらいます。それから文法などをいっしょに学びます。

イタリア語を学べる期間は一年間しかありません。ですから目標とするのは、イタリア語のしくみをイメージできるようになること、です。「イタリア語はこんな言語だ」とイメージできるようになる、それが目標です。もちろんレベルアップしたい人には、教員からさまざまなアドバイスがあります。イタリアへの語学留学も積極的に薦めます（3年生になる前の2,3月が最適）。

どうやって学ぶ？ *Come studiare?*

ミニテストのために会話のフレーズをまる覚えします。わずらわしい文法は気にせず、とにかく暗記してしまおう。

教科書に書いてある例文をノートに写す。5回繰り返し書いてみる。心の中で発音してみる、それから口で発音してみる。そうするとだんだん自分の中にイタリア語が入り込んできます。

「外国語は苦手」との先入観をいつまでももっていな

いように。忘れてもいいんです。繰り返し学んでいけば。いいことをひとつ。日本人にとってイタリア語の発音は簡単です。あえて練習する必要はありません。フレーズを読んでみると簡単に通じてしまいます。

どう使える？ *Come usare?*

担当教官と一年間イタリア語を学ぶとどうなるか、具体的な利点を以下にあげてみましょう。

- ◆ イタリアの語学学校において初級～中級レベルのクラスで困らない
- ◆ イタリア語検定5級もしくは4級をねらうことができる
- ◆ 芸術鑑賞のための短期の滞在で困らない

イタリア語は、ローマ時代に使われていたラテン語にもっとも近い言語です。諸語において言葉の意味をよく知るために語源を探ってみるときがありますが、ラテン語は常に参照されます。イタリア語がわかるとラテン語も透けてみえてくる、また姉妹であるフランス語やスペイン語やポルトガル語なども連想できるようになります。

なんと言っても一生の財産になりうることでしょう。イタリア語を日本で使うことがなくとも、「精神の豊かさ」としてずっと内に残り、「また学んでみたい」思いに動かされそのような機会をつくることもあるでしょう。

もちろん担当教官はイタリアでの研究期間が長かったので、イタリアへの留学についてはよく通じており、そのような道筋をひいてあげることもできます。まずは相談してみることに。Grazie a tutti(グラツィエ ア トウツティ)！ (土肥秀行)



シチリア島エリチェの教会

学習のためのおすすめ情報

・読書案内

- 1) カルヴィーノ『見えない都市』(大学時代に読んでおきたい小説。特にデザイン学部におすすめ)
- 2) ギンズブルグ『家族の会話』(20世紀の名作を須賀敦子の名訳で読む。イタリアのユダヤ文化を知る)
- 3) マンゾーニ『いいなずけ』(19世紀の国民小説。冒険ものとして夏休みなどにたのしく読む)

・映画

- 1) アントニオーニ『情事』(1960) (「愛の不毛」がテーマといってもそう難しくはない)
- 2) フェリーニ『8 1/2』(1963) (歴代の映画のなかでも究極の部類。ぜんぜん難しくない)

- 3) エリオ・ペトリ『華麗なる殺人』(1965) (皮肉のきいた小粋なSF映画。DVDを探してみてください)

・テレビ、ラジオ

NHK 教育テレビ・イタリア語講座をながめてみてください (また書店でテキストを立ち読みしてみてください)。
NHK ラジオ講座もあります (テキストを書店でみてください)。

もちろんインターネットにもイタリア関連のものはふんだんにあります。
「イタリア語」で検索してみてください。

フランス語を学ぶ人のために

どんな言語？

Quelles sont les caractéristiques du français?

Bonjour (ボンジュール)！フランス語は現在でも世界共通語や公用語として英語に次ぐ国際語ですが、母語とする人口は意外にも世界11位（日本語は9位）と多くはありません。それでも重要度が高いのは、芸術や文化、学術分野でこれまで果たしてきた役割の大きさゆえでしょう。テレビのCMやお店の看板にも使われ、授業で使う「レジュメ」もフランス語です。フランス語はおしゃれで優雅、そんなイメージを抱きがちですが、文法体系のしっかりした論理的な言葉です。それを話すフランス人は概して大変な議論好き。フランス国内で使用されているだけでなく、スイス、ベルギー、カナダ、そしてかつての植民地だったカリブ海や北アフリカ、西アフリカ、南太平洋地域でも話されている言語です。



地下鉄の駅名表示とポスター。読めますか？

どんな授業？

Comment se déroulent les cours?

フランス語に限らず外国語をゼロから習うには、それなりの覚悟をしてください。授業は必ず出席。課題も少なくありません。授業は文法と口語コミュニケーションのクラスが並行して進みます。予習は不要ですが、宿題と復習は確実に。小テストも頻繁にあります。幸か不幸か、多くの英語の語彙はフランス語由来ですから、「あっ、似ている」と思うことがしばしばでしょう。文法も英語

と比較しながら覚えてください。英語の特徴にも気づくはずですよ。

1年次はとにかく口に出して覚えて、フランス語を好きになること。動詞活用や文の構造、挨拶、数字を覚えることが中心です。2年次は実力アップの時期。フランス語を使うことを心がけましょう。3年次には物語や雑誌記事を読み、ネイティブとの会話ができることを目指します。フランスやフランス語圏の地域に自分一人で行けて、現地で困らないようなコミュニケーション能力とリテラシーを身につけるのが最終目標です。

どうやって学ぶ？

Comment étudier efficacement?

まずは欲張らずに授業で使うテキスト本文と文法を確実に覚えましょう。これをしっかりマスターしながら、ラジオやテレビの講座も積極的に利用してください。インターネットでのe-learning、外国語学習のサイトでフランス語ネイティブを見つけ、日本語とフランス語の交換学習もお勧めです。「話せるようになりたい」人が圧倒的ですが、ネット時代の今日、フランス語でメールを書いたり、ホームページの情報を読む機会のほうが話すよりもずっと多いのです。

達成度を確認するために、フランス語検定があります。フランス語の場合、2級を取得すれば実務で生かせると言われていています。1年終了で5級、2年終了で4級、応用クラスを履修した学生はほぼ全員3級を取得しています。準2級合格の卒業生もいます。ホームステイでの語学研修は確実に会話力がアップします。もし旅行で行くのなら、せっかくですので短期間でも語学研修に参加してみてください。夏期語学研修も2011年から始まる予定です。学習の総まとめとして、一月末に静岡県内の大学生を対象とした翻訳コンクールがあり、本校の参加者は過去毎回入賞しています。

どう使える？

Quand et comment peut-on l'utiliser?

実用性からみるとフランス語は使用頻度の少ない言葉です。しかし外国語を学ぶことは、言葉という窓を通し

て他者を、未知の世界を認識していくことです。地理的にも遠く、自分と接点がないように見える国ですが、言葉を学ぶことでフランスやヨーロッパを知る手がかりにしてください。議論好きなフランス人のものの考え方、理屈っぽい自己表現の仕方は私たちと異なるゆえ、カルチャーショックを感じるでしょう。しかし、それらを知ることで世界に対する視野が広がり、思考の柔軟性を養ってくれます。また、最初に述べたように、世界各地にフランス語を使用する国や地域があります。現在、フランスはヨーロッパ最大のイスラム人口を擁する国です。この事実の認識だけでもこの国に対するイメージは変わるでしょう。さらに、日本のマンガやアニメブームゆえに、フランスの若者は日本の文化に大きな関心を寄せています。「日本を知りたい!」という声に是非こたえてください。Merci (メルスイ)!

(石川清子)



パリ移民歴史館の課外授業風景

学習のためのおすすめ情報

・ 読書案内

1) アルチュール・ランボー『ランボー詩集』、2) レイモン・ラディゲ『肉体の悪魔』、3) フランソワーズ・サガン『悲しみよ、こんにちは』

1) は20歳前に筆を折った19世紀の詩人。是非、小林秀雄訳で。2)、3) はフランス小説の王道、恋愛小説。ラディゲもサガンも18歳でこの小説を書きました。大人顔負けの心理描写と若さゆえの残酷さが読みどころ。

・ 映画

1) ローラン・ティラール『プチ・ニコラ』(2009)、2) エリック・ロメール『海辺のポーリース』(1983)、3) マチュー・カソヴィッツ『憎しみ』(1995)、

1) フランスで50年以上愛され続けている人気絵本の映画化、2) バカンス先での悲喜こもごもの恋愛騒動、3) 移民の国フランスの抱える人種問題を扱ったパリ郊外のドラマ。監督は『アメリカ』で恋人役ニノを演じた俳優。

・ WEB サイト

SharedTalk 言語交換ネットワーク

<http://www.sharedtalk.com/>

メールによる相互添削やチャット(音声、文字)で世界を身近に感じながら外国語学習。

フランス語 Chocolat : podcast, フランス語レッスン & 情報

<http://fr-chocolat.com/>

毎週更新されるビデオと音声情報で学ぶおしゃれで楽しい仏語学習サイト。

大阪府立大学初級フランス語講座

—ポッドキャストと行くフランス旅行—

<http://www.las.osakafu-u.ac.jp/podcast-lang/fr/travel/index.html>

フランス語学習をゼロから始める人が、podcastを使ってフランス旅行を疑似体験しながら学べる。

フランス情報フリーペーパー エクラタン

<http://www.eclatant.net/>

ずばり、静岡発信のおしゃれなフランス情報紙のサイト

フランスのテレビやラジオを見る／聴く

ウェブ上でテレビ番組のビデオを見たり、放送を聴いたりできます。次の局名で検索。雰囲気だけでも味わってみてください。

テレビ局:TF1、France2、M6、France 24(国際ニュース専門)

ラジオ局:Radio France Internationale(海外向け)、

France Inter、NRJ(若者向け音楽専門)



ドイツ語を学ぶ人のために

どんな言語？ *Was für eine Sprache?*

Guten Tag (グーテン・ターク)！ドイツ語は、英語と同じインド・ヨーロッパ語族のゲルマン語派に属し、2千年ほど前までは同一の言語であったと言語学上考えられているため、共通点が多いです。しかし、それぞれの言語がたどった歴史的背景から大きな相違が広がりました。でも、英語を学んできていると入りやすいかもしれません。話されている地域は、ドイツ、オーストリア、スイスをはじめ、東ヨーロッパ、フランスのアルザス・ロレーヌ地方などで、その人口は1億3千万人といわれています。*

* 2009年にノーベル文学賞をもらったのが、ルーマニアのドイツ語系民族が出身であるヘルタ・ミュラーであったことは、あらためてこうした事実を目を向けさせました。

日本が近代国家への道を歩み始めた時、英・米・仏とともに、ほぼ同じ時期に国民国家を形成したドイツが、より近い存在としてお手本に—これには功罪ありですが—なりました。第二次世界大戦で敗北し、廃墟の中から経済の高度成長を成し遂げた点も似ています。今でもゲレンデとかシュプールといった登山・スキー用語、カルテをはじめとする医学用語、アルバイトなどの学生用語にドイツ語が化石化して定着しています。

さらに音楽や学問の世界では、近代日本に計り知れない影響を与えました。バッハからモーツァルト、ベートーヴェンをへてロマン派にいたる西洋クラシック音楽はドイツ語圏で花開きましたし、現代思想を形作っている古典的な思想、カント、ヘーゲル、マルクス、フロイト、ハイデガーなどはすべてドイツ語でその著作を書いていますから、ドイツ語の知識がないと正確に理解することは難しいでしょう。

どんな授業？ *Was für eine Stunde?*

どんな言語もそれを習得することは大変です。よく何語が易しいですか、とか難しいですかと尋ねられますが、どの言語も同じように難しいとっていいでしょう。ドイツ語を履修する学生は比較的少ないので、密度の高い授業を受けることができます。1回の授業で何回も当たります。したがって、少し進んだ段階（5月くらい）か

らは予習は必須になります。そして、授業にしっかりついてくれば、それなりの力が自然とつきます。こうした言語的訓練だけでなく、息抜きもかねて映画やビデオを利用して、ドイツ語圏の文化と社会にも関心を向けるよう工夫しています。



ベルリン、ポツダム広場の「壁」の残骸展示

どうやって学ぶ？ *Wie lernt man Deutsch?*

授業を履修している時は、基本的に予習・復習をして授業についてくればOKです。この4本の初級を終えてからは、大学で中級が開講されていればそれを履修する、テレビやラジオの講座を利用する、あるいは市民向けの講座に参加するなどして、学習を継続することが望ましいです。もちろん読書が趣味といった人ならば、独学で原書に挑戦してみるのもいいかもしれません。しかし、「いきなり原書は敷居が高い」のであれば、東京大学のドイツ語の先生たちが編纂して東京大学出版会から刊行されている、二つのドイツ語教材（PrismenとHorizonte）もお勧めです。けっこうハイレベルですが、原書とちがって注釈がついています。

学習の動機付けを高めるためには、ドイツ語検定試験[独検]をうけてみるのもいいでしょう。初級をマスターすれば、5級と4級に合格することができます。中級クラスのトレーニングをへれば3級にチャレンジできます。<http://www.dokken.or.jp/>にアクセスしてみましょう。

ドイツには半官半民的な、全世界的な組織であるゲーテ・インスティトゥートというのがあって、ドイツ語のさまざまなレベルの講習会を開講しています。文化的なイベントが催行され、ドイツ料理が楽しめるレストランも併設されていますから、気軽に遊びに行ってもいいでしょう。残念ながら、日本では東京、大阪、京都にしかありません。ドイツ国内にはたくさんあって、4週間ないし8週間のコースに毎年日本からも多くの人が参加しています。とりあえず、<http://www.goethe.de/INS/JP/tok/jaindex.htm> にアクセス。コミックやスポーツの話題も出てきます。

どう使える？

Was kann man mit Deutsch schaffen?

フランスと並んでEUの中軸国ですから、ドイツ語は経済や政治の分野で軽視できない重要性をもっていますが、もっと幅広くは学問や芸術分野を志す人にとっての必要性でしょう。さきほどは音楽の話題を出しましたが、造形芸術分野を考えても現代デザインと建築に与えたバウハウス (Bauhaus) の影響力は計り知れません。このクレーやカンディンスキーも講師陣として参加した学校は、ナチス政権によって弾圧され、ドイツ各地を転々となりました。「政治と芸術」の問題を考える上でも欠かすことのできない運動であったのですが、今ではドイツ各

地にバウハウス・ミュージアムがあって、そこを巡るだけでも興味深い旅となるのではないのでしょうか。Danke (ダンケ)！

(中尾健二)



ベルリン、カイザー・ヴィルヘルム記念教会
(広島原爆記念ドームに匹敵)

学習のためのおすすめ情報

気軽にドイツ語圏の文化と社会にふれるとするならば、映画は恰好の手段です。生活の中でのドイツ語の響きを聴くことができます。近年けっこう頑張っていて、アカデミー外国語映画賞をとったものだけでも4本あります。『ブリキの太鼓 (1979)』、『名もなきアフリカの地で (2002)』、『善き人のためのソナタ (2006)』、『ヒトラーの贖札 (2007)』です。周辺にこれらに匹敵する作品が数多くあるということ

でもあり、学習材料の宝庫です。ドイツ版を入手すると、かなりの作品に聴覚障害者用のドイツ語字幕がついているのでドイツ語学習者にとってはたいへん助かります。未見の方は一度ご覧になってはいかがでしょうか。

英語を学ぶ人のために

どんな言語？

What kind of language is English?

Hello! Welcome to SUAC! 英語はヨーロッパの片隅の島国イギリスで生まれた言葉ですが、現在世界の人口約60億人のうち約15億人が英語を使用していると言われています。また世界人口のおよそ3分の1が何らかの形で英語との付き合いがあるというデータもあるそうです。ところが、英語を母語として使用している人は約3億8000万人で世界の人口の6%でしかありません。すなわち世界中で英語を使っている人たちのほとんどは第2言語(あるいは第3、第4の言語)として英語を使っているということになります。

このように、英語はいまや世界の共通語として、大きな役割を担っています。英語を母語とする人たちと話す時だけでなく、お互いに相手の言葉を知らないもの同士が話すときのコミュニケーションのための言葉として威力を発揮するのはもちろん、世界中の印刷出版物、放送、インターネットなどで使用される言語も英語が大きな割合を占めていることは言うまでもありません。

皆さんのほとんどは中学・高校と6年間英語を学んできたにもかかわらず、自由に使うことができないもどかしさを感じておられることと思います。また、大学に入ったら、英語をしっかりと勉強してものにしたいと思っておられる方も多いことでしょう。



Baker Street Underground Station

どんな授業？

What do you do in English classes?

本学では英語のリスニングとスピーキングを学ぶ「英語コミュニケーションⅠ、Ⅲ」、リーディングとライティングを学ぶ「英語コミュニケーションⅡ、Ⅳ」、LL教室の情報機器を活用した「マルチメディア英語」、そして実際に社会に出てから使う場面を想定した「ビジネス英語」が外国語科目の英語の科目として用意されています。また、2年生からの「英語上級」では、時事英語や学術的な英語を読んだり、英語でプレゼンテーションをしたり、エッセイを書いたり…と、より実用的な英語を学びます。またその他にも学部共通科目として、英語によるライティングを学ぶ「英語表現法」、より高度な英語のコミュニケーション能力を身につけたい人のための「英語ディプロマコース」もあります。(ディプロマについては別に案内があります)

基本的な文法事項については高校まででひと通り学んでいるはずですので、大学では学んだ知識を生かして、どんどん聞いて話す、読んで書くことが中心の授業になります。

どうやって学ぶ？

How can you learn English?

英語だけでなく、語学の学習すべてに言えることですが、ただ授業に出席して、聞いているだけでは、身につけません。しっかり予習をして、授業を聞き、授業中は積極的に発言し、課題を確実にこなす。そうした繰り返しによって、少しずつ自分のものになっていくのです。そうした成長は目に見えないゆっくりとしたものですが、それを続けていけば、一年後には自分の力が伸びたことに気が付くはずですよ。

授業以外にも英語に触れる機会を増やしてみましょう。リスニングで一番身近なのはNHKのラジオ講座でしょう。自分のレベルに合ったものを選んで聞いてみましょう。最近は衛星放送でCNNやBBCのニュース番組も身近になりました。海外ドラマの二ヶ国語放送、映画の好きな人は映画もお勧めです。英語の台詞と字幕の違いが面白いと感じられるようになれば、映画を見る楽

しみも増えるでしょう。

日本にいと英語を話す機会がなかなかないので、ネイティブの先生もいらっしゃいますし、昼休みの English Café や ESS も英語を話せるよい機会です。ぜひ覗いてみてください。英語を話す練習にお勧めなのが、英語によるひとり言。相手がいるつもりで、あるいは自分の気持ちをこっそり、英語で口にしてみましょう。

図書館へ行けば、*Japan Times*, *Asahi Weekly*, *Herald Tribune* といった英字新聞がいつでも読めますし、*Time* や *Newsweek* などの英文雑誌も揃っています。英語を読むときには辞書が手放せないという人も多いと思いますが、やさしめの本を辞書なしでどんどん読んでいくのもよい方法です。使用語彙数を制限して書き直されたグレード別シリーズで読みたかった作品に挑戦してみるのはいかがでしょうか。これも図書館にあります。Penguin の Puffin シリーズや絵本など子ども向けの本も手軽に読めますし、自分の好きな分野のインターネットサイトも手軽な教材になるでしょう。

本学では1年に4回 TOEIC の学内受験の機会を設けています。他で受験するよりもずっと安く受験できますので、定期的に受験して自分の英語力の伸びを確認すると、励みにもなるでしょう。オンラインで TOEIC の学習ができるシステムも用意しています。詳しくは授業で



Bagpiper in Scotland

も案内しますので、大いに活用してください。また、イギリスへの夏期語学研修、イギリス・アメリカへの交流留学制度もあります。詳しくは説明会が開かれますので、興味のある人は参加してください。 See you in English class! Thank you.

(美濃部京子)

神話から生まれた英語

皆さんは「ナルシスト」という言葉をご存知ですね。「自己愛者」というような意味ですが、もう日本語としても定着しているといっていいでしょう。もとは「ナルシスト」、英語では narcissist になります。そして、スイセンの花のことを narcissus と言うのですが、これはギリシャ神話の話が元になっています。

ナルキッソスは美しい青年でしたが、エコーをはじめあらゆるニンフたちの誘いをはねつけてしまいます。そのため、ナルキッソスに振られたひとりのニンフが、ナルキッソスも相手のことがたまらなく好きになり、しかもその恋が報われないという思いをさせてほしいと、神に祈りを捧げます。それを聞いた復讐の女神ネメシスはその願いを受け入れることにします。ある日、ナルキッソスは澄みきった泉に映った自

分の姿にそれとは知らず恋してしまいます。近づこうとしても近づくことのできないその相手を前に泉の前から離れることもできないままやつれて死んでしまい、水辺に咲く一輪の花になってしまいました。人々はその花にナルキッソス（スイセン）という名をつけて彼の思い出を残しているのだとい

います。
このように英語には神話から生まれた言葉がたくさんあります。地図帳を表す Atlas も神様の名前ですし、金星 (Venus)、木星 (Jupiter) といった惑星の名前もローマ神話の神様の名前です。Tuesday, Wednesday, Thursday という曜日の名前は北欧神話の神様の名前からきています。

こうした英語の文化的背景を知ることも英語を学ぶ上で大切になってきます。こうした背景文化については「国際文化入門Ⅳ」でお話したいと思っていますので、興味のある方は英語と合わせて履修してください。

The English Diploma Course



THE THREE OVERLAPPING GOALS OF THE EDC ARE TO DEVELOP: English language skills, lifelong learning skills, and professional skills.

The English Diploma Course (EDC) is an intensive two-year program for highly motivated students aimed at developing English communication skills with a special focus on oral communication. Students learn to speak at both casual and professional levels on diverse topics including current public issues and personal interests using appropriate vocabulary. A variety of media is employed such as newspapers, books, public radio, television news, and online information. Assignments consist of various presentations and reports aimed at themes relevant to post-graduation.

In order to be successful, students must take advantage of the ample opportunities for self-learning such as: LL, web materials, reading, writing, Online TOEIC exercises, and SUAC Reading Center materials and exercises. This challenging course requires extreme dedication on the students' parts, but committed students will leave the course ready for the professional English world.

英語ディプロマコースでは将来に役立つ3つのスキルを身につけます：
英語のスキル、生涯学習のスキル、仕事に役立つスキル

英語ディプロマコースは、英語学習に対して、高いモチベーションを持つ学生のみなさんのための、2年間の集中プログラムです。その主な目的は、オーラル・コミュニケーションに特に焦点を置いた、英語コミュニケーション能力の育成です。具体的には、時事問題や、個々の興味関心に応じた様々な話題を扱いながら、日常生活レベルと専門レベルの両方において、適切な語彙を用いて会話ができるように学習をします。教材には、新聞、書籍、ラジオ、テレビニュース、その他インターネット上の情報など、多様なメディアを利用します。課題では、卒業後にも生かすことができるテーマで、様々な種類のプレゼンテーションやレポート作成に取り組みます。

本コースで成果を上げるために、みなさんは、LL教室やWeb教材を利用したり、リーディング、ライティング、オンラインTOEIC練習問題、SUACリーディングセンター（Web上）の教材や練習問題など、自己学習のために多くの機会を活用しなくてはなりません。このやりがいのあるコースでは、学習者であるみなさん自身の大変な努力が必要となります。みなさんがディプロマコースにて懸命に取り組むことができれば、より専門的に英語を使う世界へと、道は自ずと開かれていくでしょう。

☑ Selection Process: 選考プロセス

Prerequisites:

English Communication I-IV
(take all four courses as a freshman)
Composition I
(take in the fall of the freshman year)
Upper English Communication I-IV
(take all four courses as a sophomore)

Selection Criteria:

- Pass all required English courses
- SUAC IP TOEIC score of 500 or above
- Pass the EDC English interview

履修しておく科目:

英語コミュニケーション I-IV
(1年次に4科目全てを履修)
英語表現法 I
(1年次の後期に履修)
英語上級 I-IV
(2年次に4科目全てを履修)

EDC履修の選考基準:

- 上記の英語科目の単位を取得していること
- IP TOEICテストで500点以上
- 英語での面接に合格

☑ Course Contents: コース内容

EDC courses have two meetings each week. Each meeting has a specific focus. All courses are linked to complement each other and allow step-by-step progress.

英語ディプロマコースでは授業が週2回あり、各授業ごとに明確な焦点が定められています。全てのコースは相互に補完しながら繋がっており、段階を踏んで、みなさんの力を伸張させるように構成されています。

	Focus 1: Teacher 1	Focus 2: Teacher 2	授業の焦点1: 教員1	授業の焦点2: 教員2
EDC1 1年目 前期	Computer assisted language learning, Internet skills, listening skills	Academic reading (Group research, discussion & presentation)	コンピューターを使用した英語学習、インターネット・スキル、リスニング・スキル	学術的な英文の読解 (グループ・リサーチ、ディスカッション、プレゼン)
EDC2 1年目 後期	Presentation 1: -How to pres. -Persuasion pres. -Information pres.	Academic reading (Research, analysis, discussion & poster presentation)	プレゼンテーション1: (3種類のプレゼン) -「やり方」を伝える -相手を説得させる -情報提供をする	学術的な英文の読解 (リサーチ、分析、ディスカッション、ポスタープレゼン)
EDC3 2年目 前期	English content production: -Podcasts -Online research -Presentation 2	Graded reading circles (Research, discussion & presentation)	英語コンテンツ制作: -ポッドキャスト -オンライン・リサーチ -プレゼンテーション2	段階的なリーディングのサークル (リサーチ、ディスカッション、プレゼン)
EDC4 2年目 後期	English content production: -Video lesson -Discussion -Presentation 3	Authentic reading materials (Analysis, research & presentation)	英語コンテンツ制作: -ビデオレッスン -ディスカッション -プレゼンテーション3	オーセンティックな教材の読解 (分析、リサーチ、プレゼン)

To view more details about the program and materials, go to:

<http://www.suacpals.com/edc/edc.html> and

http://www.suacletters.com/suacletters/EDC_Main.html



授業の内容、学生の作品

文責：マーク・シーハン、杉浦香織

「わたしはこうやって日本語を学んだ」

SUAC外国人教員による座談会

2010年5月20日、612学科共有室にて

石川 清子 (進行役)

Mark D. Sheehan (アメリカ合衆国)

林 在圭 (韓国)

イシカワ エウニセ アケミ (ブラジル)

孫 江 (中国)

兪 嶸 (中国)



なぜ、どのように日本語を学んだか

石川 それでは、きょうは母語でない日本語で授業から研究まで行なっているみなさんにお話してもらいます。どんなきっかけで日本にいらして、日本語を身につけて現在に至ったかを、お一人ずつお話していただいて、それから日本語学習を勉強していく上での苦労話や学生へのアドバイス、そういったことをフリーで発言いただきます。最初に、どういういきさつで日本に来て日本語を身につけたかを、キャリアを紹介するかたちでお話いただけますか。

シーハン 11年前に日本に来たとき、2つの日本語だけ、「さよなら」と「ありがとう」だけ。あとね、公民館とかいろんなところで、がんばって日本語勉強、英語のボランティアティーチャーとかいろんなことをした。今はあんまりプログレス無い(笑)。テレビ見ながら、自分のフラッシュカード、ひらがなのカードで勉強しました。メジャーソースはテレビ見る、漫才と漫画。

日本に来るきっかけは大学のとき、僕の大学にはいろんな日本人がいた。日本人の友達がいた。いつも英語を手伝った。大学院を卒業して、1年ぐらい日本に行きたいと思った。そう、それで1年冒険しました。来る前は日本語全然勉強しませんでした。ギリギリの終わりのときは奥さんと会いました。それからもう1年、あと1年って(笑)。

林 英語圏の人はそんなに日本語をしゃべる必要性を感

じないと思う。日本に留学して大学院に入っても英語だけでOKだったりして、日本語しゃべれなくてもすむ。これは良くないと思うんですけど、その国に行けばその国の言葉を学ぶ。もし勉強が目的でなければ、また違ってくるかも・・・

イシカワ でもマーク先生は留学ではないんですよね？

シーハン ではない。冒険、英語教える仕事・・・耳で日本語学んだ。耳が一番早い。テレビとラジオと音楽聴いた。

イシカワ 逆に学校に行かないで覚えるっていう方が難しいんじゃない？例えば語学学校に行った方が授業がちゃんと受けられる。それについていけばいい。

林 そうですね。単語の積み重ねだけだと、体系化しないで忘れがちになっちゃうと思うんですね。大学のときは外国語を勉強しましたか？

シーハン 大学ではスペイン語を勉強しました。テレビのスペイン語チャンネルが僕は好き、楽しかった。アメリカではスペイン語を使う。日本語のクラスもあった。先生は2人で、学生は少ない。スペイン語はすごい人数いる。アメリカの大学ではランゲージラボを使って勉強する。授業の後でワークブックとビデオを見るとスタンプももらえる。それが20時間ぐらい。あとは授業で、1週間に3時間ぐらい。アメリカではフランス語、スペイ

ン語勉強する人はよくできる。大学の日本語の先生を知ってる。大学1年生や2年生でも日本語を勉強してすごい人いる。学生なのにすごい上手、書くのとしゃべるのと。

林 日本人が日本の普通の大学で英語を勉強するのと比べて、アメリカの大学の学生が外国語をするのは？

シーハン 多分、日本の授業は足りない。授業1回は90分でランゲージラボなし。それでは難しいと思う。

林 例えばうちの大学をみると、1年生はほぼ全員が外国語をやるじゃない？英語をよくやっている。それに比べるとどうですか？アメリカでは外国語をそんなにはやってない？

シーハン やってない、多分。

林 アメリカでは教養課程が非常に充実していて、教養に語学も含まれてるのかな？日本やほかの国は特に語学を重視するじゃない。

シーハン アメリカでは重視しないと思う。

林 たぶん必要性ない。高校などに第1外国語はありますか？

シーハン いろんな学校があって、小学校でもフランス語がある場合がある。僕の友達が住んでいるカリフォルニアでは、小学生はスペイン語を勉強する。それに旅行のためにフランス語かイタリア語勉強したいと思っている。

林 日本や韓国、中国では第1外国語は英語。それにプラスして第2外国語がドイツ語やフランス語・・・そういう概念はアメリカにはないんじゃないですか？

シーハン 僕は高校と大学でスペイン語を勉強した。僕にはスペイン語があった。一番楽しかった、大学でもスペイン語勉強したくらい。書くのは辞書で勉強しました。あとパソコン・・・読んだり書いたりはあるまいできない。お知らせが日本語で来たら大変。もちろん奥さんが手伝ってくれる。

林 では孫さんは？どういうきっかけで日本にきましたか。どういうふうになら日本語を勉強したのか。



孫 僕はね、天安門事件の数年後、職を辞して、一時的に街頭をさまよっていました。つまり、中国の南に行って商売をやるか、それとも外国へ留学に行くかということ。もし、南に行ったら別の人生を送ったのかもしれない（笑）。

南とは深圳とか海南省などです。当時、一緒に政治をやっていた仲間たちはほとんど南に行って、今、ほとんど全員金持ちです。しかし、たまたま日本に来る機会がありました。日本の先生が僕を引き受けたのは、中国の本屋で僕が書いた本を買ったからです。

しかし、僕の本当の目的は日本を経由してアメリカに行くことでした（笑）。パークレーに行きたかったんです。そこに知り合いの大先生がいたからです。しかし、日本に来てからすぐに日本語を学ぶ必要性を感じました。

ある日、大学の図書館に入ってびっくりしたんです。なぜなら、わたしが好きなイタリアのグラムシの全集もおいてあり、ドイツのニーチェ全集もおいてありました。つまり、日本は翻訳大国です。日本語を通じて世界を知ることができます。これは第一の印象でした。じゃあ勉強しましょう。1992年に日本に来たときは29歳でした。もう若くなかったから、日本語学校に通って勉強するのは無理だと感じました。そこで2つの方法を使って日本語を勉強しました。ひとつはテレビニュースを見ること、もうひとつは大好きな大相撲のテレビ中継を見ること、そして野球も。相撲中継の開始時間は早いから、ゆっくり見ることができます。僕は、大体午後の3時半からずっと最後まで見るんですよ（笑）。

もうひとつの僕独特の勉強法は、好きな文章を暗唱することです。発音を覚え、意味を理解した後、ひたすら声に出して暗唱する。またラジオ放送を聴くようにしました。テレビよりラジオ放送の方が面白いですよ。いろいろ想像しながら聴くことができます。それから大学院の入学試験を受けました。最初は研究生でした。その後、

直接、博士課程に入る試験を受けました。どうせ落ちると思っていましたが、受かってしまいました（笑）。

後で先生に「なぜ僕を捨ててくださったんですか」と聞いたら、「外国語の勉強は時間が経てば自然に伸びるからです」と。

兪 私は孫先生とマーク先生みたいな波瀾万丈な（笑）学習経験は持ってなくて・・・中国で外国語大学に通いました。

孫 中国の大学生の勉強はすごいです。

兪 外国語大学の日本語学科でしたので、もう日本語漬けの4年間。日本語を選んだのはすごく現実的な理由で、就職のためでした。兄の友達が外国語大学の英語学科なのでアドバイスをもらいました。英語と比べて日本語はまだやっている人が少ないから就職のチャンスが多いと言われました。もともと外国語を学ぶのはあまり嫌いじゃありませんでした。大学には1993年に入りました。

孫 僕の学生よりも若いです。僕が最初に担当したクラスの学生は1986年に入学したクラスです。僕は当時25歳でした。

兪 専門にしてそれで食べていくつもりで大学に入ったわけですから、必死というか、周りはみなそうでした。

石川 じゃあ日本の大学の外国語の教育を見てると、ちょっと生ぬるいと感じませんか？

兪 う～ん、日本の外国語大学のカリキュラムは詳しくないんですが、中国の教え方は、わたしが大学生だったころ、日本の文化よりも言語が優先でした。あと日本語を話すトレーニングがたくさんあって、しゃべれないと外語大出たとは言えないよってすごく言われましたね。大学を出たらすぐ企業とかで仕事で使えないといけないと、そういう感じでした。大学では日本の歴史とか社会

とか経済とか、そういった科目はあんまり充実してなくて・・・

1年生ではほぼみな中国人の先生でした。日本人の先生は会話とか、発音の授業しか担当しない。学年が進むとだんだん日本人の先生の割合が高くなって行って、4年生では全員日本人の先生でしたね。

初めて日本に来たのは仕事でしたが、東京のビッグサイトでの展示会のためでした。特に不自由は感じませんでした。

大学生の間は一度も日本に来なかったですね。そんな簡単ではないので。

孫 今でも簡単ではない。

林 韓国も昔はできなかった。

兪 私にとって日本はこのようなイメージでした。全国規模の学生スピーチコンテストがあって、いろんな言葉で行われていました。ロシア語、フランス語、ドイツ語とか。もちろん日本語も。そこで同じ大学のフランス語学科の子が優勝して、彼女のスピーチの中に、中国で外国語を学ぶってというのは、部屋の中で外の景色を見ているようなものだと言われていました。私はいつかその景色の中に入りたと思いました。

中国で日本語を勉強していても面白いんです。2年生のときは日本語に恋していました。言葉自体に。でも何となく窓越しの景色でした。だから日本の中に溶け込んでみたかったです。好奇心みたいなものです。

初めての日本への出張は2週間でした。そのとき中国の大学で知り合っていた日本の方を通して、日本の大学の先生を紹介していただいたんです。出張のときにその先生に会って、じゃあ留学来てくださいということになりました。

孫 私とは違いますね。私の経験は参考にならないですよ（笑）。

テレビで日本語上達

イシカワ 私は名前も顔も日本人なんですけど、ブラジルではあまり日本語に触れていませんでした。父は日本生まれでブラジルに移民しました。父が2歳のときだから、今使われている日本語とは違ってました。母も日系人で、移民の子としてブラジルで生まれ育っている。だから母は学校で日本語の勉強はしていないので、家の中で聞いて身につけています。



私たち兄弟4人は小さいときからポルトガル語で育てられています。親同士が日本語で話すのは聞いていても、私たちは日本語が話せなかった。聞いて何となく分かっている気がしていましたが、でも本当は分かってない(笑)。親子の会話ではポルトガル語を使っていました。日本語は幾つかの単語でした。ただ幼稚園から14歳まで日本語の語学学校に行かされていました。まあ日本語塾みたいところです。

まあ一応10年間通いました。その10年間で何を覚えたかって言うと、平仮名とカタカナくらい(笑)。日系人の子どもは、日本語の勉強をさせるため日本語の学校に通われます。ほとんどの子どもは嫌がっていて、学校には遊びに行っていた感じです。

遊ぶときもちろん、言葉はポルトガル語で、学校の中でもポルトガル語で話していました。日本語は、ひたすら書き取りを10年間やって、それでも漢字に入る前にやめてしまった。小さいときから触れていたけれど、それだからこそ日本語嫌いだっただけです。

14歳の中学卒業と高校入学の年に、数カ月間親と交渉して、やっと日本語学校を辞めてもいいって許可をもらった。うちの父親が許した理由は、私が日本語を勉強しても大学の受験には何の関係もなく、むしろ英語を勉強しないとイケないから、こんな「わけの分からない」日本語を勉強する代わりに、英語や他の科目を勉強した方がいいとやっと父を説得し、日本語学校を辞めました。

結局ブラジルでは、日本語を使う機会はなかった。でも大学2年生になったときに、まあ外国に行ってみたいとか、大学卒業してどうしようかなっていうときに、日本の文部省の奨学金の案内を見たんです。その時、日本語は嫌いんだけど日本に行けるんだと思ったら思いました。他のアメリカやイギリスの奨学金も調べました。でも日本の文部省のが、金額的に一番よかったです。往復航空券も出すし、生活費も出すし、授業料も無料。その代わり受験する大学は国立のみという条件がありました。

私の奨学金は、最初の1年間は語学学校に行き日本語を勉強し、それから大学の学部を受験して、合格しなければそのままブラジルに帰ることになっていました。だから1年休学して日本に来ました。いずれにしても日本で1年間日本語勉強して帰ってまたブラジルで大学を卒業すればいいと、ある意味では軽い気持ちで来日しました。

はじめは1年間のつもりでしたが、東京外国語大学の日本語学校に通い、今は留学生日本語教育センターと呼ばれていますが、そこで朝から晩まで日本語の勉強。ブラジルの10年間でもう少し日本語を勉強しておけばよ



かったと反省しました(笑)。

そこで初めて日本語を本格的に勉強しました。そうして日本の大学に入って、学部から大学院に行って、1年のつもりがもう23年目になった。

だからまあ日本語に不自由したかと聞かれれば、今でも不自由していますが・・・私は国費留学生という立場で来日したのである意味で恵まれていました。最初から日本語学校に通ったし、いわゆる日本語をきちんと勉強する機会があったので、他の外国人と比べればそう困難ではなかった。ただ日本語学校で習う日本語は分かったとしても、日本の大学の授業では先生が何を話しているのか分からないし、板書が全然読めなかった。

だからわたしは黒板よりも隣に座ってる日本人の友達のノートを見ていた。作戦は、頭の良さそうな学生を見分けて、その人と友達になることでした。それに字がきれいな人であること(笑)。今はなにが難しいかっていうと、日本語ができるだろうと思われてしまうことです・・・そう決め付けられることが一番大変。まあ日系人で、イシカワといいますから、大学生のときは、よく帰国子女と間違えられました。帰国子女なのに、何で日本語ができないのかとよく言われていた。

だから「私は帰国子女じゃなくて留学生です」って言うと、じゃ英語できるでしょって言われた。だから最初は英語が大嫌いだっただけです。なぜ日本に来て英語ができないことで批判されないといけないのかって思った(笑)。日本ではひたすら日本語を勉強するしかない。もう辞書をひきながら学び、あとテレビを見ていました。今でも見ているけど、よく「サザエさん」を見ていました。

叔、孫 「サザエさん」ですか(笑)。

イシカワ 内容はともかく、正しい日本語を使っているから。ある程度日本語ができればドラマを見ても分かる

けど、いわゆる流行語を理解するのは難しい。だから今でも懐かしく「サザエさん」を見たりするという感じがな。

林 僕が日本語はじめたのは、契機は中学校のときに英語が嫌いになったこと。英語の先生に殴られたりして、英語の勉強をやめちゃったんです。数学が得意でした。僕の長男坊も数学がこの辺ではトップクラスだそうですけど・・・当時、地元の国立大学の有名な数学の教授の名前が僕と同じで、だから実習に来た教師が毎回僕を指すんです。後から聞いたら、その有名な教授が自分の先生で、腹いせに私に当てていたそうです（笑）。僕の中学校はその大学付属でした。

まあそれはともかく、英語嫌いになった。そこで兄貴からこれからは中国語がいい、中国を勉強しなさいと言われたんです。1970年代末だからずいぶん先を読んでいる。そのときの兄貴の言葉を受け入れていけばよかったかなと、今になって思ったりもしますが（笑）。それから大学に入りましたが、自分が望んだ大学ではなくて、はじめの2年間はほとんど毎日友達とつるんで飲みに行っていたんです。そうしたら2年生の夏ごろに入院する羽目になって、その後から酒飲まないようにしました。

大学では社会学を学んでいました。そこで日本、というか外に行きたいと思いました。手っ取り早いのが日本ではないかと思ったんです。ちょうどそのときにおじ、母親の弟が東京に住んでいて、おじを通して日本にアコがれました。そのとき韓国はまだ経済発展もしてなくて、日本に行きたいなと思いました。まず大学で社会学を勉強して、卒業後に日本に留学しようと考えました。それで大学4年のときから日本語の勉強を始めました。遅かったですね。

1年間毎日よく日本語を勉強しました。大学入試の勉強も、それくらいすれば、たぶん今ごろ大統領になっていたかもしれない（笑）。というほど日本語がとても面白かったんですね。それで毎日12時間から14時間も勉強しました。最初は塾に通ったんですが、上達し過ぎて教えられる先生がいなくなりました（笑）

学校のスピードに物足りなくなっ、1、2ヶ月通っただけで辞めました。日本人と週1回喫茶店で話すという会話のレッスンをすることにしました。これがまた面白くて、しゃべりたいがためによく勉強した。

僕は、読むのはどんな本でもいいと思ってるんです。どんなに「悪い」テキストでも何でもいい。とにかく見る、覚える、話すのが一番です。僕の場合、最初は文法書を見たんですが、その後は辞書3冊で勉強しました。日韓、



韓日、漢字の3冊の辞書を全部覚えました。だから当時は日本人以上に単語を知っていました（笑）。

言葉を20回ずつ口にして、20回ずつ書いて、それから会話のときに使ってみる。本当に通じるのか、使える単語なのか、確かめる。使ってみるとなかなか忘れない。そういう風にして3冊を大体1年ぐらいで勉強しました。

それから留学しようと思いました。手続きをしようとしたら駄目で、軍隊に行っていないからです（笑）。そのときは1ヶ月だけ日本に語学研修に来ようとしたらそのときにはじめて分かったんです。軍関係の書類を用意していない。兵役を終えてないという書類を作らないと飛行機に乗せてくれませんでした。他の人たちは先に発ってしまって、僕1人で翌日東京まで来ることになったんです。でもそんなに問題はなく、日本語はまあ通じました。その後日本で、僕だけしゃべれたので、一緒に来た人たちも僕についてくるようになりました。1ヶ月の後にそのまま留学できないか調べたら駄目でした。帰国してから、なんとか軍隊へ行かないで済む方法はないかと探して、韓国の大学院に入ってみたり。日本語学科に入ってもしゃべれる人がいませんでした。外国語大学ならともかく、普通の大学ではしゃべれる人がほとんど居ません。だから僕と先生だけ、1対1で話していました（笑）。1年で辞めちゃって、結局そこから軍隊に行きました（笑）。2年半です。今は2年ですが。大学で色々軍事訓練を受けていたので、その分兵役が短くなりました。同じく時に入隊した人よりは3ヶ月ぐらい早く僕は除隊した。

30歳近くになって入隊した僕の年齢は中隊長と同じぐらいでした。軍隊は階級社会ですから、公には尊敬語を僕が使わないといけないけど、私的な関係になると両方も敬語を使うようなこともあったりしました。兵役が終わってからやっと留学ができました。

1989年夏に日本に来て、日本の大学院は先生に挨拶をするのが先ということ知らなくて、ただ入学試験を受ければいいのかと思っていましたが、面接の時に担当教員がいないという理由で不合格となりました。籍をどこかに置かないといけないので、池袋にあるサンシャイン

という日本語学校に半年ぐらい通いました。来日後3ヶ月で日本語能力試験1級を受けましたが、ほとんど日本語は忘れていませんでした。軍隊の間は全く勉強していませんでした。漢字だけは忘れて、読めるけども書けなかった。

だから日本で漢字を復習するようにしました。半年ぐらいで全部とり戻しました。だから1級を、学校の中でトップの成績で受かった。集中してよく勉強していたからです。

イシカワ 私の人生で一番勉強したのは、日本に来てはじめての1年間。朝から晩まで勉強していました。授業が8時半から4時半まで。宿題がいっぱい出て、毎日漢字テストがあった。

林 日本に来てから、足りないと思ったのは聞き取りと方言でした。韓国では方言は習いませんでした。標準語しか習っていないから、日本ではニュースはほとんど聞き取れますが、時代劇だと半分しか聞き取れない。それからお笑いがむずかしいです。30パーセントしか聞き取れない。お笑いは関西の人たち多いですが、徐々に関西の方言が分かるようになりました(笑)。だから半年間1日中テレビばかり見ました(笑)。

イシカワ 日本語だったらNHKのニュースが一番よくて、英語であればCNNが一番いいかも。ニュースが一番いいのは、正しい文章で的確だから。映画ではよく分からない。

シーハン 日本語で一番苦労したエピソードは、たぶん奥さんと結婚するとき、プロポーズのとき。すごいプレッシャーで、スピーチを毎日勉強した。ちゃんと勉強した。奥さんの家に行って晩ご飯食べた。そのあとでお願いした。日本文化だね。

林 いろんな面に日本の文化の形式があり、学長がおっしゃる「型」という文化は、他の国にはあんまりないでしょうね。だから結婚相手の親にあいさつするときや、相撲では大関や横綱の昇進の時に口上を述べるとき、あるいはさまざまなあいさつやスピーチは非常に堅苦しい(笑)。必ずないといけない。

韓国はこんなに堅苦しくない。最初は堅苦しいようになっているけど、すぐくずすようにする。例えば、一杯飲んじゃったらすぐに仲良くなる。

礼儀は守るけど非常に親しくする。袖の触れ合いも縁とか何とかというでしょう。これを実践するのが韓国で

す。日本人はそうじゃない。少なくとも1年ぐらい、この人が友達になれるのかどうかを見計らって決めるけど、韓国人は思い切ってすぐに友達になる。

上達するには目的が必要

シーハン 外国語学ぶときの僕からのアドバイスは、ゴールが要る、なんで勉強するかはっきりさせる。僕のとときのゴールは、親から結婚の許可をもらうこと(笑)。

ゴールは小さくてもいい。あとはステップ、ステップ、楽しく勉強する。僕にとっては日本のテレビやいろんな音楽が楽しい勉強。

林 外国の言葉って、面白さを感じると一番入り込める。親やまわりがそんなに強く言わなくてもいい。自分に目的意識があって、それを達成しようと、そこに面白さを感じればいい。

石川 それではまたひとりずつ、苦労したこととか失敗談をお話してください。あるいはこんなときに日本語が分かって良かったということ。俞先生からお願いします。

俞 私の大学はちょっと特殊で、日本語関係の授業が多くて毎日何時間も日本語の勉強をやっていました。ある程度しゃべれるようになったのは2年生が始まってすぐでした。日本からの留学生と話してみたりもしました。

孫 宿舎のみんなが日本語を学んでいるでしょ？朝から晩まで全部日本語を使う、食堂でも。

俞 日本語学科はみんな一緒にいます。全寮制、寮に住まなくちゃいけないから。



石川 じゃ、辞められないですね。

齋 やって面白かったのはドラマを見ることですね。授業でドラマ鑑賞がありましたよ（笑）。リスニングの授業が2パターンあって、そのうち1パターンは日本語の話し言葉を学ぶのが趣旨で、映画やドラマを見ました。ただし聞きっぱなしじゃなくて、すぐその場でテープ起こしをするんです。いま登場人物が何と言ったか書きなさい、繰り返しなさいっていう感じの授業。その時見たのは『私をスキーに連れてって』と『東京ラブストーリー』。全部テープ起こしをしました。映画を楽しんで、あわせて日本語の勉強もできる。「ああ、こういう時はそうやって言うんだ」と分かった時はうれしかったですね。

もう一つのリスニングの授業では、オフィシャルな日本語を身に付ける趣旨でニュースを見ましたね。

こういうのは楽しかったのですが、挫折しそうになったときもありました。2年生である程度しゃべれるようになって、さらに高度な日本語に仕上げていくとき、見えない壁が2年生の後期にあったんですね。

当時の先生から「2年生の後期にひとつの壁がある。ちゃんとした日本語を身につける第一の関門だから乗り越えなくちゃいけない」と言われて、その方法は暗唱と暗記。それからひたすら声を出して読む。朝起きて読んだりかして、だんだん調子が良くなった。授業で使う教科書、あと日本語の小説、夏目漱石の『坊っちゃん』とか読んでいました。

林 僕も勉強が嫌になるときは読むんです。声を出して読む。

石川 今はいろいろな教授法があって、逆にひとつのことをを繰り返し教えることはあんまりやらないんじゃないか、残念ながら。

齋 それはやっぱり基本だと思いますけど。

林 大切なのはマーク先生が言ったように目的意識をもつこと。僕の場合は、田舎生まれ、小学校の高学年になるまで田舎にいて、学校でトップになって大都会に行くことと決めた。田舎では勉強ができる人はみんな都会に行っちゃう。都会と田舎の教育の差が大きかったんです。都会で勉強しないといい大学に行けないから僕は小学校5年生のときに大都会に出ました。そのときに大学の先生になると決めてしまいました。それから変わることもなく、日本の大学に就職しました。あと1、2年で駄目だっ

たら国へ帰るギリギリの段階でした。母校の先生に帰って来いと言われていたんですけど・・・親からはずいぶん前から帰って来いと言われていた。そもそも日本語の勉強が面白かったんです。僕はひとつずつ積み重ねていくのが非常に楽しくて。特に自分が覚えたことが実際に使えるんだということがわかったとき、これが非常にうれしかった。そうすると絶対に忘れない。

イシカワ 私が日本で日本語を必死に勉強していた、その目的というのは大学受験のためでした。それに日本に来た以上は言葉を覚えてしまわなければならないという覚悟があった。それに1年がんばれば帰れることになっていたし（笑）。

結局一年後に留学生枠で大学に入った。その後は、日本語を勉強するという意識はなくて、ただ大学の授業についていくために言葉は必要でした。授業を理解するというのが目標といえば目標。日本語の単語をいくつ覚えて、漢字も覚えるっていうんじゃないで、とにかく渡された資料を読み、その内容を理解する、それだけだった。そうしてあっという間に大学4年間が過ぎてしまった。

私の大学時代はそれほど楽しくなかった。日本語の文章が読めた喜びがあっても、すぐに次の課題がある。はじめて勉強して楽しいと思ったのは大学院に入ってからでした。日本語があーだこーだっていうところで時間をかけずに、文章を読んで、その内容だけに集中できた時でした。

私がよく学生に言うのは、語学を勉強するのは大事なんだけど、何のためにやっているのかがもっと大事で、語学だけを知っていても何の意味もない、ということ。

文化の違いや発見も大切

林 確かに日本語を学ぶのは、それ自体は目的ではなくて、目的を達成するための手段。僕には言葉そのものも面白いけど、その下にある文化が面白い。



イシカワ 今でもよく分からない日本の文化ですが(笑)、言葉を学びつつもその文化とのすれ違いや衝突がありますね。

言葉が分かるからといっても、その文化が分かるっていう意味ではない。ある程度分かるようになるけど、ある程度日本語ができると日本の文化って何となく分かるような気がするけど、ここで育ったわけではないし分からないところが多い。

林 韓国文化と日本文化は似ていて、その他の文化から離れています。韓国文化からみると日本文化はすぐ分かる。それでも中に入っていくと、ある意味全然違う。表面は似てるけど、中に入ると違う。これが面白い(笑)。

イシカワ 言葉を学ぶとき、最初は順調だけれども、ある時点で壁があるっていうのは、言葉を勉強すればするほど、自分が文化をどれだけ分かっていないのかっていうのが分かるからでしょう。それにあいさつ程度の言葉で満足していたのが、もうちょっと高度な日本語を理解したい、それを身につけたいっていう欲も出てきて、ストレスもたまるようになる。

林 僕の苦労には節目があって、まずカタカナ、それから動詞の活用、で、敬語ですね。

動詞の活用と敬語を乗り越えちゃえば、面白くてどんどん前へ前へ進みます。乗り越えられずに途中で辞める人が多い。僕と一緒に来た人でもほとんどが途中でやめて帰ってしまいました。

それから食べ物大きいと思います。日本の食べ物が嫌いではなかったのに助けられた。通常ひとりで留学してくると、1年過ぎるころに友達もなく淋しくて国が恋しくなるし、言葉の勉強もどんどん難しくなって、いろいろ重なってこの時点で辞める人がほとんど。

イシカワ だから留学した場合、まず大事なはその国の友達をつくることです。

林 そういう面では日本は、先ほど言ったけど、友達になるのが非常に難しいことがある。

イシカワ 日本人はね、考え過ぎるんだと思う。だから友達になる場合も真剣に考えて、信頼できる関係をつくらうとする。

ブラジルでは、みんなアミーゴね。でもイザという時に、しらないと無視されることもあります。



林 日本では留学生のためのチューター制度が非常にいいと思う。

孫 僕のケースは参考にならないです。挫折?ずっと挫折しているよ(笑)。ソン(孫=損)ですからね。僕は敬語の勉強を最初からあきらめました、難しいから。

実は敬語には差別化する機能があります。それを外国人がしゃべると妙な感じがしますよ。必要最小限だけ勉強しました。

イシカワ わたしはすべての人に「です・ます」を使う。学生にも「です・ます」。学長にも「です・ます」、いつもいっしょ(笑)。

孫 やっぱり日本語を通じて学問を磨くことが大事です。この10年間、本当にたくさんの恩恵を受けました。たくさんの本を読みました。日本語が中心ですが、もちろん高度な専門的なものになると、やっぱり原文を読まなければいけない。

林 僕の面白いエピソードは、韓国で日本語を勉強して1年くらい経った後、留学手続きのために韓国にある日本の領事館に行って、アメリカ人と友達になって、その場で映画を見に行き、そのまま夜に飲んだことがあった。韓国になぜ何で日本語ペラペラのアメリカ人がいるのか。ビザを取るために、1回日本を出国して韓国に来るんですね。韓国でビザをとって日本に再入国するみたいですね。日本人のように日本語を話していました。

SUACの学生へのアドバイス

石川 ある意味、この場でも日本語を共通語として仲間意識が生まれますが、よくよく考えればみなさん外国人で日本語を母語としていませんから、あらためてすごいなって思います。

最後に、自分の母語をこの学校で教えてるみなさんから学生へのアドバイスとか、授業をしていて気が付くこととか一言ずつお願いします。

孫 わたしはスマップ (SMAP) と答えたいです。SはSleepのSです。日本の学生は睡眠時間が短か過ぎて授業中の集中力が低いです。MはMemoryのM。記憶すること、暗唱することですね。AはAloudで、声を出すことです。最後のPはPracticeのP。実践することです。

石川、兪 なるほど。

林 日本の学生は時間が足りない。アルバイトがある。他の国ではそんなにしない。

孫 まず、時間の管理をちゃんとしないと。

イシカワ たぶん語学に関係なく、学生は単位を落とすという考えがないからいけない。点数が足りないから落ちる、留年する、卒業できないというのがあり得ないから甘いのだと思う。

林 学生のなかに目がピカピカしている人があまりいない。

兪 睡眠不足だから (笑)。

孫 近年、僕の授業に3年生や4年生が多い。彼らはやる気満々です。そして、連続して週に4コマを取る人もいます。やっぱり目的意識が違うのでしょうか。

林 去年、韓国語の授業にも、デザイン学部の人でも4年生で真面目で一番前に座っている、そんな例もあります。

孫 中国語で熱心なものも他学科、他学部の学生です。特にデザイン学部の学生が、毎年1、2人、勉強に熱心です。

石川 逆に4年生ぐらいになってからようやく・・・

林 そうそう、自ら勉強してみようというのがあるから違ってくると思う。兪先生。

兪 新しい外国語を勉強するときは、自分の母語、それからずっとやってきた英語を忘れたほうがいい。どうし



ても影響を受けてしまうから。丸ごと違うものだから、中国語を学ぶ学生には日本語忘れなさいと言うしかない。

孫 兪さんは語学を学び教えるのにむいていますね。能力があります。僕の時代は、今と違って、外国語を学ぶ人は成績の低い人でしたよ。兪さんの時代になると、外国語の人气が上がりました。僕の時代とは全然違います。試験制度とも関係があります。唯一数学の試験がないのが外国語学科です (笑)。

兪 すごい競争率らしいです。授業を英語でやるらしいんですよ。

孫 一部の中学校は外国語が使える先生を呼んで普通の授業をさせます。知り合いの息子さんに「英語で授業をした先生の英語はどうですか」と聞いたら、「発音が駄目だ」というのです。

林 韓国でもあります。小学校から英才教育が数年前から始まって、選抜して特別に教える。そういうところではネイティブの外国人が教える。

孫 だから真央はヨナに勝てないです。英才教育です。その方法を中国は韓国から学んだんですね (笑)。ショートトラックが強くなったのも、韓国出身の監督のおかげでした (笑)。

イシカワ やっぱりポルトガル語を教えるときに、まあ日本語を忘れなさいというより、柔軟に考えなさいと言います。だから素直に、外国語はこういうものだってことを受け入れることが大事。

いちいち日本語でこうなのはどうしてポルトガル語でこうなんだろう、そう考えているうちはあまり進まない。だからこれはこれとして素直に受け入れて暗記する、ごちゃごちゃ言わない。あとやる以上はまじめにやってほしい（笑）。

やっぱり日本語でいつまでも考えてるより、外国語をそのまま丸暗記する。自分の母語で外国語を考えようとしても不可能です、というのがアドバイスかな。

林 外国語大学で可能でも、うちの大学では、英語は例外として、外国語をしゃべれるレベルに到達するのは難しいと思う。

だからいかに興味をひくかということに力をいれてます。なにかを覚えさせるよりは、方法なり手段なりを説明します。上級をやりたい人、あるいは留学したい人には個別指導する方法をとっています。

しかし、まずは興味を持たせることです。言葉を覚えさせても、数年経ったら多分ほとんど忘れてしまうでしょう。だから興味を持たせることで、あ、面白かったという記憶が残るようにはしたいと思います。

イシカワ さらに加えて、母語だけでなく複数の言語を話し、書くことができるメリットは、基本的に視野が広がるということです。それを理解してほしい。

日本語しかできなければ、日本語で書かれている情報しか入ってこない、外国語ができる人と、生の情報量が違ってしまう・・・

林 言葉そのものに関しても、日本語の音は、例えば長短があって、母音の数が少ないので発音領域が非常に狭い。外国語を勉強すれば、違う音があることに気がきます。日本語は舌を動かさなくて、ほとんど口を動かさなくても話せる。腹話術ができますね。

イシカワ だから日本のアナウンサーは笑顔でずっと原稿を読む。英語やポルトガル語だと、ずっと笑顔では話せない、発音ができない。

林 いっこく堂さんがなぜ腹話術をあんなにうまくできるかという、もともと日本語はそんなに口を動かさなくてもいいんです。口を開けなくてもいいし、舌を動かなくてもいい。韓国語をやろうとしたら基本母音が10個あるんです。だいたい9個の位置を舌が行ったり来たりしている。それから口を上下左右運動させないとしゃべれない（笑）。

イシカワ だから外国人がいくら日本語がよくできても、外国人だと分かってしまうのはイントネーションがあるから。それによく見ると顔のいろんな筋肉を使っている。日本人はあまりイントネーションをつけてしゃべらず、筋肉も使わない。

日本語で一番難しいのは、一定の音程で話すことです。不可能です。それに口と顎辺りが動いてしまう。

孫 さっきのSMAPですが、訂正があります。SはSentenceのSですよ（笑）。スリープというのは冗談。単語じゃなくて、センテンスから始めるべきということです。単語じゃなくてセンテンス、今年は1年生のクラスから実践しています。先日、1年生の学生たちに授業中に中国語で自己紹介をしてもらいました。

石川 さあ、そろそろ時間です。この辺で終わりにしましょうか。とても楽しかったです。どうもありがとうございました。

「わたしはこうやって外国語を学んだ」

SUAC日本人教員による座談会

2010年6月1日、503号室にて

土肥秀行（イタリア語）
小岩信治（ドイツ語）
永井敦子（フランス語）
池上重弘（インドネシア語）
溝口紀子（フランス語）



学びのきっかけ

土肥 今日は順番にみなさんに「いかに外国語を学んだか」お話を聞いていきたいと思います。それぞれ外国語を学ぶことになったきっかけなどをあらためてお聞きすると、なるほどそうだったのかというのがわかって結構おもしろいですよ。「ライブ」ですから、決まりきったことばかりでなく自由に話していただきたいと思います。それでは小岩先生から始めていただいてもいいですか？

小岩 後でちょっと英語の話もするけど、ドイツ語を始めた理由はあまり面白くなくて、音楽学っていう学問はドイツでできたんですね。だから一生懸命勉強しようとする、最近では英語の文献を読むんだけど、ドイツ語の文献も読まなきゃいけないから、それ勉強するらしいというのを大学の1年、2年のころに何となく察知したんです。それで少しずつ勉強始めたという感じですね。

永井 わたしは、すごくテキトーなんですけれども、出身大学の入試の願書に、第二外国語を書く欄があって、選択肢がドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語。で、まだソビエト連邦の時代だし、中国も当時は大陸に行く機会はあるまいなさそうで、実際使うとしたらドイツ語かフランス語、その中ではフランス語の方が使える範囲が広いと思って選びました。それだけです。

池上 わたしは、実は永井敦子先生と同じ大学の出身な

んだけど、実は学部は文学部哲学科を卒業したんです。

で、倫理学に関心があってね、カント哲学を生で読んでみたいっていうのがあって、そういう意味では非常に強い動機とともにドイツ語を選んだの。ただ入ってみてね、「なんだか思ってたのと違うな」ってのに割と早い段階で気付いて、それからしばらく語学から離れていました。哲学っていう意味では実はギリシャ語もちょっと勉強してた。

で、本業のインドネシアとの出会いはですね、わたしは極めて遅くて、大学院の博士課程に入ってから。東南アジアの米を作る社会の研究をしたいっていうのは、大学院に入った辺りからあったんだけど、具体的に海外フィールドワークをするってときに、それはフィリピンなのか、タイなのか、インドネシアなのか、なかなか決まっていなかった。でも博士課程に入った辺りでインドネシアってのが少し具体化してきて、それからインドネシア語を学び始めた。なので、ほかの人と違って、わたしはインドネシア語を日本で正規課程で学んだことはありません。

溝口 わたしも池上先生に近いパターンかもしれないですけど、運動学が専門で、マイネル運動学っていうぐらゐスポーツとドイツ語は結びついています。実は学生時代、ドイツ語が第二外国語だったんです（笑）。運動学のドイツ語の文献を読むようなゼミにも入ってたんですけども、全く相性が良くないっていうのを感じていました。

静岡の大学に着任してから、文部省の在外研究員とし

て海外研修の機会を得ました。それで行きたいところがフランスだったんですね。でもフランス語できない(笑)。出発する前に半年ぐらいで、全部一からやろうと、それこそ最初は独学でやって、さらにベルリッツ(フランス語会話)にも行ったんです。ベルリッツの先生がカナダ人の先生で、当時の静岡ではフランス人の先生っていなかったんですね。最初のフランス語がカナダ人の先生から教わったので、発音も今思えばカナダ、まあケベックな(笑)発音でした。それでも、もうこれで大丈夫だと言われてフランスに行ったんですけども、当地では「このフランス語は何ぞや」ってフランス人に言われまして、そこからもう1回現地でもやり直す、そういうようなきっかけで学ぶことになりました。

土肥 それではイタリア語なんですが、僕はもう結構前から、中学生ぐらいのときから学ぼうと決めていたんです。でも中高生のときは、本は読んでいたけど、まだ言葉はやらなかった。そのとき特に言葉を学ぶ機会がなかった事情もあります。大学入るときに、先ほどの永井先生の話で思い出しましたが、第二外国語を選ばなくてはいけなくて、イタリア語をやりたいって思ったんですね。だけど第二外国語のなかには入ってないから、じゃあ近い言葉であるフランス語を選んでおいて、イタリア語は第三外国語として学び始めました。最近自分が教える立場になって、年度の初めに何度も言うんだけど、僕はイタリア語をすぐに挫折しました。第三外国語だから週に1回しかないし、先生もあまり教える気がなかったし・・・2回は挫折してる。ちゃんと勉強し始めたのは大学3年になるときかな。勉強自体始めたのがそのときだったから(笑)。それがスタートですね。

どうやって習ったか

小岩 まさにいろいろですよ。今お話聞いていると、僕はドイツ語を真剣にやんなきゃなって思ったタイミングが皆さんより遅いわけですよ。大学入ってからドイツ語とフランス語と英語をやりました。

大学で週にそれこそ1回か2回・・・そんな調子なのは身に付かず挫折をする、ということになるのです。それで池上先生の「本格的にやったのは結局大学院に入ってから」というパターンと同じになります。

どう学んだかと言うと、大学にいてもしょうがないのでドイツ語学校に行きました。週2回ゲーテ・インスティテュートですね。要するにお金掛けなきゃ駄目なんだなって悟った。これは結構ポイントです(笑)。



溝口 わたしは、語学学校だけ行っても駄目だになっていう限界に気が付いたのがフランスに行ってからです。やっぱり生きた言語って、その場に行って、体に染み込んでくもの、栄養とか空気みたいなものだと思います。言語は環境の中に身を置くことで身につくものだと感じましたね。

今まで英語、ドイツ語もそうですが、文法中心の日本式の語学の研修の仕方で行って来ました。フランス語だけはほんとに現地にまず行くところからはじめたので、他の言語と違いますが、その分、体に染み込むというような経験だったと思います。

永井 わたしは逆で、大学のフランス語の課程でおとなしく勉強していて、文法重視、ちょっとレベルが上がったら講読中心で、大学4年のときに、卒論を書くのにフランス語の300ページぐらいの本を1冊読みました。大学院に上がっても読むばかりで、20代の後半にいよいよ行くとなったときに語学学校に通って、それで会話やろうとしたら全然できない。札幌でベルリッツとアリアンス・フランセーズ。結局アリアンス・フランセーズが一番続きました。

池上 じゃあ、わたしの話をしましょう。まあインドネシア語はそういう場が札幌にはなかった・・・

当時の後輩で、京都大学の東南アジア研究センターだったかなと思うんだけど、インドネシア語の短期集中講座に行った学生が居たんですよ。で、その子が、テキストこんなでしたってのもちょっと持ってきてくれて、じゃああなたの復習にもなるから一緒に勉強しようよって、ちょっとやったのが本当に始めたきっかけかな。

あとはね、完全に自習でしたね。で、一時期農学部留学していたインドネシア人の留学生と週に1時間ぐらい、テキストを使って話す練習みたいなものやったけどあんまり身にはなんなかった。でも助走期間としては大事だったなと思ってます。



それからインドネシアに留学して、インドネシア大学の語学学校に入ったのね。それはもうインドネシア語でインドネシア語教えるっていうやつなんですけど。この4ヶ月間、これは大きかった。そのときに語学学校のテキスト以外に、自分で日本語で書かれたインドネシア語のテキストももう1冊やった。

土肥 真剣にイタリア語をはじめてからは、自分で純粹に「やる」と思ってやったから習得は早かったです。挫折2回したから、そろそろ3回目にちゃんとやらなきゃいけないと思いましたし。3年生になって、やっぱり何となく卒論ということも考えるし。イタリアについて書こうと思っていました。

1、2年生のときにフランス語を第二外国語で無理やりやらされたので、文法的なことは頭に入っていました。イタリア語とフランス語は仕組みは同じだから、多少置き換えみたいなことができたんです。だから、3年生の夏に南イタリア、ナポリの近くの語学学校に行きました。それ以後、夏休みと春休みは常にイタリアに行っていました。旅行したり、ホームステイしたり。

住み始めたのは留学がきっかけで、博士課程に入っただけで26歳のときでした。そのときには何の問題もなく、イタリアの大学の授業にスッと入っていけました。日本の大学にはイタリア人の教員もいたし、日本でもイタリア語による文学の授業を受けていました。日本での勉強で、読む、書く、話す基礎はできていました。恵まれた環境にいたと思います。

小岩 現地との関係、つまり「日本でその外国語やる」ということと、「実際行く」ということの違いについては、「まあなんかドイツ語やんなきゃいけないんだな」と1回目の挫折をした上で大学院のころ、青山のゲーテ・インスティトゥートに通いながらうすうすは分かっていたのね。

特にドイツ語なんて読むが主流じゃないですか。まず

文献読んで、っていうような教育が多いから、それではまずいんだろうなっていうのもうすうす思ってた。で、もちろんゲーテに行くと日常会話をやるんだけど、それでも解決されないと思っていました。

それである日、ポンって、なんか電気が点いたんですよ。ゲーテに行った帰りに、青山から信濃町の駅に歩いていく、そのときに「きっとこれは日本語で考えてる限り駄目なんだ、日本語で考えないで、これはドイツ語で考えよう、よし、今からドイツ語で考えるぞ」って思ったの。で、じゃあドイツ語で考えようと思ったら、シーンって、何も考えられることがなかった(笑)。

それで、だけど無理やり考えて、それで Der Zug kommt an. って、電車が入ってくるっていう、そういうドイツ語文をようやく思い付いて、駅に着いた。その日はそれだけだったんですよ。今思うとすごくばかばかしい話で、もし今その駅に立ったら、「こういう人がいて、なんか天気がだんだん悪くなっていくけど、そんなところにこんな人がいて楽しそうだって、その人たちこんな荷物持ってる」とか、そういうこといくらでもドイツ語で考えられるんだけど、当時はほんとにその「電車が来る」、その一文しか言えなかった。

だからそういう留学の機会を一生懸命探していました。ただ、学生の皆さんに学部からどどん行きなさいとか言いつつ、わたしはパスポートを作ったっていうのが25歳なんです。大学院も博士課程に入るところなんです。そのときにようやく行って、それで、そのさっき溝口先生がおっしゃったような経験はしました。そのときね、まあ音楽の研究者として、これは思い込みかもしれないけど面白かったのは、ドイツ語が音楽に聞こえた。

ああ、ほんとにこういう今まで聞いていたシンフォニーとか、ドイツの器楽がドイツ語に聞こえた。

それはこう新鮮な体験としてすごく思い出します。ところでもうひとつ、はじめてドイツで生活して感じたことですが、日本で文法ばかりやるとよく言われるけど、文法的に的確に言うと、確実に伝わるストライクゾーンが大きくなるわけです。仮定法とか接続法とかがきちんとできると、微妙なニュアンスが伝わる瞬間の楽しさっていうのがあって、勉強してって良かったなと感じました。

永井 多分、わたしは、フランス語でものを考える域にまだ行っていません。フランスに行ったのも、フランスの現地の空気に触れるよりも、日本じゃ見られない史料がフランスにあるから行ったんですよ。

溝口 ああ、語学よりそっちの方に興味があったんですね。永井先生らしいです。

永井 だから、行ってもとにかく読むというのを続けました。それで読んでいて、神様が降りてきたような体験はしたことがあるんですけど、聞いていてとか、しゃべるときに、フランス語がフッとわいたような経験はまだないですね。

一皮むけたと実感したとき

池上 はじめて行ったのはアメリカで、今でも覚えているのは、ロサンゼルスデパートに行ってね、入ったときにね、ナチュラルスピードで May I help you? って言われたの。こっちは分かんないんできょとんとしてる。で、もう1回彼女は May I help you? と。でも何を言ってるのか分かんない。それで I beg your pardon? って言った。そうするとものすごくゆっくり May I help you? って言われて愕然としたね、今でも覚えている、そのシーン。

つまりやっぱり語学っていうのは、その状況の中で音として覚えないと駄目なんだっていうのはね、そのときにもう痛感しましたね。なので、わたしは割と音で覚えるタイプなのね。だからポルトガル語とかスペイン語も、ほんのちょっとしゃべるんですけど、変な話だけど、トイレにカセットテープ置いて、かけて学んだ。

だからポルトガル語は片言だけど、簡単な紹介は結構それっぽくしゃべる。で、話戻しますとね、わたしの場合は、基本的にやっぱりインドネシア語をしゃべらないといけない、フィールドワークをするから。そのときに、読むことももちろんそうなんだけど、しゃべりの音の感じっていうのにすごく意識を向けて勉強しました。

で、まあここで言う進歩を実感できたエピソードになるんだけど、あるときね、半年くらいたったときかな、午後ですね、窓を開けて何かをやってた。読んでたのか、書いてたのか、ちょっと覚えてないけどね、日本語だったような気がする。そのときにラジオでFMがかかって、番組の間のコマーシャルね、インドネシア語の、これがスッと入ってね、完ぺきに分かった。で、シャドーイングっていうね、その後、すぐそれでしたよ。その瞬間に、雲の上に出たなっていう感じはあった、うん。それはそのまま神様が降りてきた(笑)、そういう瞬間かな、うん。

溝口 すごい神が降りた経験ですね。わたしの海外旅行の諸体験ですが、パスポートを持ったの14歳なんです。柔道の国際大会に日本代表で出て、当時まだ南回り

ドバイ経由で欧州旅行をしていました。ちなみにエアロフロートに乗ると機内食で珍味のキャビアが出たんですよ。

当時はすごいお得な飛行機でした。例えば、エコノミークラスですが、キャビアの他にもアイスクリームが出ました。当時のわたし英語が得意で、遠征のたびにチームの通訳をしていました。遠征すると、食事のメニューの注文を通訳したり、試合のタイムテーブルの確認をしたりとか。コーチより海外の選手とコミュニケーションを取っていました。語学に対するコミュニケーションポテンシャル、つまり、人と交わりたいたいというようなモチベーションがすごくあったと思うんですよ。

話は変わって、フランスにコーチで行ったときに、先ず困ったことは、話して技の動きの説明をすることでした。会話もまともにできないのにいきなりプレゼンテーションからやれと言われるんですね。例えば、「この技術を教えてください。」といわれて、comme ça, comme ça, comme ça ‘こうやって、こうやって、こうやる’ と、日本人に教えるように体を使いながら説明したら、「comme ça, comme ça, comme ça って言っても、ノリコ、全然分かんないよ、その comme ça を詳しく説明してくれ」と言われたんです。会話もままならないのに、いかにわかりやすく技術を効率よく、短時間で選手に教え込ませることができるか。感覚の部分、comme ça を、フランス語に置き換えて教える。これができないと、なめられちゃうし、コーチとしての技量を問われているとも思いました。フランス人に「ダメだし」されたら次から、相手にしてくれないっていうのがすごく分かってるんで、必死でわかりやすい表現を考えましたその表現をわかりやすいフランス語に置き換えるために徹夜でその技術指導の1時間のための指導案をフランス語で作ったんですね。結局、日本語フランス語みたいな、もう変な表現なんですね。しかし実際それでやってみると、なんかそれが選手にはウケたんですね。小学生が使うような簡単なフランス語で、表現するほうがすごくピンポイント



ントに頭に入ってくるんですね。とにかく生きたフランス語を体で覚えるという経験をしました。

私が出た環境には日本人が誰も居なかったんですよ、1年間。もう365日柔道やっていたので、半年ぐらいで夢の中でもフランス語で会話していました。柔道着をきたらフランス語のスイッチが入るような感じでした。今でも柔道着を着るとフランス語の方がこうしゃべりやすいです。ある意味、うん、スッと入って行きました。なにを話しているか聞き取れる、つまり何をしゃべっているって分かったのが大体半年ぐらいですね。

つぎにそれを、自分の気持ちを表現する、ことをペーパー無しで、自然に表現するっていうのは1年ぐらしかかりました。

土肥 そのつまずきとか、一皮むける体験とか、みなさんお持ちだと思うんです。このあいだ、日本語ノンネイティブの先生たちがどうやって日本語を覚えたか、座談会で話し合っていて、ラジオとかテレビ、相撲放送を通してというのが多かったです。あと映画とかね。そのときに僕が思ったのは、たとえば映画なんか見て、イタリア語がバーッと聞こえてくると、言葉を覚えるために映画を見ているわけですが、本当にやんなっちゃうことがあって。「今なんて言ったんだろう」って映画を止めて、辞書調べて、と繰り返していると映画が全然楽しくなくなってくる・・・「そういうことはありません？」ってノンネイティブの先生方にきいたら、「何で？」って返されました(笑)。「何かしら分かるんだから、流しておけばいいじゃん」って言われた。

そうした体験は日本でしました。やはり日本では普段からイタリア語に接してるわけじゃないから、その言葉学ぶために、例えば道具として映画を使ったときに、言葉の方に集中し過ぎてしまった。わからない単語がひとつでもあると嫌なので、いったん映画を停止する、辞書を調べる、映画を再開する、という繰り返しになります。それで映画が全然楽しくなくなってしまうということが日本にいるときにありました。

その他のつまずきは、今でもあります。やっぱり分からない単語があると嫌です(笑)。もちろん自分の主な目的は本を読むことです。昔、高田和文先生にイタリア語を習っていて、一つ先生がおっしゃったことで覚えているのは、「1ページ読むのに5分で済む場合と、1ページを30分かけてじっくり読まなければならない場合がある」というものです。つまり自分で緩急付けて読めということでしょうが、僕は多分なんでも30分かけて読もうとしてたんでしょう。そこで、やっぱりちょっと息詰まることがあった。

池上 それは言える。新聞を読んでただけど、要するに数多くざっと読むときと、関心持ったこういう部分は、もうとことん知ってる単語も辞書引くってやって、その言葉の使いまわしを覚えるとかって。そういう意味で言うと、わたしも意識的に、1日に1回は、今で言う30分かけて読むような作業もやった。それでやっぱ単語の使い方がずいぶんと身に付いたと思う。

あと今話をしている思い出したんだけど、わたしの場合、言語交換、ランゲージ・エクスチェンジの非常に良いパートナーと出会えたこと。音楽を共通の趣味とする女の子で、日本語学科なので日本語が非常によくできる。で、インドネシア語の口語のテキストがあって、日本語とインドネシア語とで書いてある。それを使いながらね、こっちは日本語の感覚、このテキストの日本語ちょっと変だよとか、女の子だったらこう言うよとかって教えてあげる。で、向こうもインドネシア語の感覚で、これはちょっと社会階層の低い人が使う言葉だねとかっていうのも教えてくれて。テキストの勉強もそうだけど、お互い知りたいこと、言いたいことがあるから、日本のことはわたしは日本語で言うんですよ、ベラベラね。で、彼女はインドネシア語でベラベラ言う。

彼女も、その後日本の文部科学省の奨学金もらって広島大学に国費留学したから。まあお互いにメリットがあったなと思って。

やっかいな発音、やっかいな二人称

溝口 フランス語で、笑われた失敗経験があるんです。フランス人って、文法を間違えても許してくれるけど、音を間違えるとすごく馬鹿にするんですよ。フランスの友人から文法は間違えてもいいけど「発音」だけは間違えるなって、すごく徹底して、繰り返して猛練習したんですね。最初に間違えたのが、viteっていう単語で、「速く」という意味なんです。トレーニングのときに、もっと速くって、plus vite, vite! って言って、「はやく走って！」って言ったら、みんな立ち止まって大笑いですよ、国際合宿で。ええ、「ノリコ、viteは駄目だよ、言っちゃ駄目だよ(笑)。」意味は辞書でひいてください。「恥ずかしいよ、聞いているこっちの方が恥ずかしいよ」って。VとBの発音だけは間違えちゃいけないなど。でもそれはそれで、今でも、わたしを紹介するエピソードになっています。

小岩 そうなんですよ。だからそれは失っただけじゃないんですよ。怒られたってだけじゃないんで。逆にそれでもう、名刺代わりに(笑)。

溝口 失敗も自分のキャラクターになるっていうのと、あとはね、その表現のタイミングなんですよ。

とにかく教え子がほんとに繊細なんですよ、特に勝負の場面って。日本語って、「何々しなきゃいけない。何で、ああやってしなかったんだ」とか、コーチングの現場ってやっぱきつい言葉になるんですよ。でもそこで、フランス語で tu dois を使って強い表現で言ってたんですよ。そしたら、選手に逆切れされて「ノリコね、あなたの言葉はね、きつ過ぎんだよ」って文句言うんですよ。日本だとそういうコーチと選手の関係って、絶対あり得ないんですけど。それで、すごくストレスになるから、il faut を使うようにしてほしいといわれました。

また、男の人に、je t'aime は言っちゃ駄目だって、なんかこういうこともちゃっかり教わりました。愛の表現も、je suis folle de toi 'わたし、あなたのとりこになっちゃう'の方がje t'aime よりもっとロマンティックでいいんだよとか・・・フランス流の愛の伝え方を、教え子から教えてもらいました。

言葉を通じて、コミュニケーション、つまり、深くフランス人とは接することができたと思いました。すいません、わたしの失敗談（笑）。

永井 いや、わたしは、そういうエピソードとかはないんですけど、日本で勉強しているときには、アリアンスの会話でも、vous なんですよね。二人称は丁寧な vous を使うのが基本なんです。ところがフランス人と親しくなると、tutoyer してくれて言われるか、あるいは向こうがどんどん二人称を親しいほうの tu で言うてくるので、それに自分が vous で返すと、対等な立場じゃないので、こちらも tu を使うんですが。そこで動詞が全部変わるので（笑）、切り替えには苦労しました。

小岩 ああ、それに関して言えば、ドイツ語もその区別はあって、それでね、もちろんその丁寧な方を日本で習っていく。で、向こうに行くと、もっと身近な Du や Ihr を使い始めるんだけど、丁寧な方、つまり Sie は単数、複数関係ないわけね。ところが、その近い方は単数、複数が関係あるから、自分が1人の場合と、自分が友達なりと一緒に居る場合と違うわけね、呼びかけられ方が。それで、だから「あなた you」に当たるものが、親しい複数形で言われるのと、親しい単数形で言われるのの違いっていうのはすごく大きくて、それで、あるとき、なんかのことで・・・

溝口 変わるんだよね。



小岩 友達とどこかに行ったときに、呼びかけられる人稱が変わるので、ああ、自分は1人じゃないんだって思った瞬間、この言語の体系っていうのをすごく感じました。1人で居ることと、パートナーと居る、そうすると複数形で呼ばれる、おまえらって呼ばれる。このことは、すごいショックだった。それはなんか、すごくうれしかったわけね、セットで捉えられる、どんな関係であれ、で、全部、動詞形を全部覚え直すっていう（笑）。

溝口 動詞も、結構変化に富んでるし、女性形、男性形のね、冠詞もきつい、ほんとにね。

小岩 日本は逆に人稱がいっぱいあるんだけど、人稱を単数と複数に2つに分けるっていうのはやっぱり違う考え方ですよ。それで「丁寧なの、つまり Sie と、家族が使うの、つまり Du や Ihr がある」って習うんだけど、それに当てはまらないことが少なくとも2つあって、一つは神様ね。

教会で言う神様っていうのは、日本の教会で言うときにはすごく丁寧なのね。日本の多分、言語文化の流れをくんで、日本のキリスト教会でも、丁寧な表現を神に対してする。それに対してドイツ語では、それは Du です。近い感じの二人称。

もう一つはね、日本に帰ってきてからアルバイトしたんですけど、それがね、刑務所の通訳だったんです。で、まさにその、今話題になってる検察の取り調べと似てるわけです。

さっきの溝口先生のお話で思い出したんだけど、われわれの文化の中では乱暴に言うコンテキストでも、それが必ずしもドイツ語の脈絡ではそうでない、っていうのがあります。取り調べ官は「おまえそれ絶対やっただろ」みたいな、そういう（笑）、乱暴な物言いをする（笑）。それをドイツ語に訳すときに、Du という近い人稱を使うのか、Sie っていう離れた人稱を使うのか。それで迷っ



た揚げ句、Sie、つまり遠い方にしたんですね。で、後でドイツ人に聞いたら、それはSieが正解なんだと。そういうことがありました。だから、取調官と被疑者は日本語のモードでは乱暴な関係なんだけど、家族じゃないし、明らかに離れた関係なんだから、「おまえ」何て感じの日本語で訳しちゃいけない。

土肥 この場合だと丁寧な言い方、あるいは別の場合だと別のニュアンスを帯びて出てくるなど実践の場であってきます。言葉はまず勉強して頭の中に入ってきますが、それが身体感覚につながったときに一皮むける。

溝口 自分でほんとに一皮むけたなって思ったときは、パリに日本チームが来て、ちょっとガイドしてくれよって言われて、じゃあ定番でシャンゼリゼ行こうという話になりました。それでメトロに乗ったんです。その時、わたしはバッグを脇に挟んでに持っていました。ちょっとだけ開いてたんですよ、ほんの少しだけ。そしたら、すごい混んでいるなかになだれ込むように、きれいな女性が入ってきたんですね。その女性毛皮のコート着ていて全然スリだと思わなかったんです。でもよく私にぶつかってくるなと思って、ぶつかる腕のほうをみたらバックの中に手が入ってるんですよ。で、バーって手首つかまえて、tu es voleur!! と言って、そのとき知っている全部フランス語を駆使して罵倒して、「おまえ汚い」とかぼろくそに言ったら、泥棒がもう泣きそうになってしまっって・・・

ほんとに追い詰められているようで「わたしやり過ぎちゃったな」って思って手を緩めたら一目散に逃げて行きました。まあ何も盗まれなかったんで良かった。そのときに、あ、わたしフランス語抜けたわって(笑)、そのときに思いました。なんか、降臨したなって瞬間でした。

池上 やっぱり語学上達するどっかの場面で、よくけん

かをする場面ってのが出てきて、それは何でも、あこがれてそれを吸収したいと思ってやってた時期に対して、やっぱりある種自分と相いれないものって、やっぱりあるわけで・・・それに返せるだけの語学力が付いて。わたしも一時期、そうね、半年過ぎて10カ月ぐらいのときかな、よくけんかしてましたよね(笑)、お巡りさんとか、役所の人とね。うん。

溝口 そうですね。フランス語で文句とか、言える瞬間って、一つ自信が付く時期かなと思うんですよね。

あとね、壁に当たってた時期っていうのは、フランス人と対等になろうと思ってた時期があったんです。成績はフランスのコーチと同じように、教え子が金メダル幾つとかって評価されるわけじゃないですか。ってことは言語もそれぐらい同等じゃないといけない。最初は、コーチング力っていうのは、ある意味フランス語力とも思ってた時期がありました。

でもある日、選手から、「ノリコは、コーチの中で一番わたしたちのこと分かってくれる」って言われたんですよ。自分では分かっているつもりはないんですけど、とにかく、フランス語よく分からないからよく理由を聞いてみたりしていたら、それがかえってコーチのなかで一番話を聞くとおられていたらしいんですよ。でも自分としては聞くしかなかった。話をとにかく聞いて、最後まで全部聞く。

フランス人って会話のとき最後まで聞いてくれていない人が多い。帰国の際、お世辞だったとはおもいますが、「一番話を聞いてくれて、ほんとにいいコーチだった」って言ってもらったんです。「ノリコが一番話を聞いてくれる」。ああこれだ、話すだけが能じゃない、コミュニケーションは聞くことが大事なんだと思ったんです。それから、わたしはフランス人と同じようにコミュニケーション取らなくてもいい、聞くことで吸収して、それよりもワンワードなり、2つぐらいの簡単な言葉でその人に一瞬で心に届く表現力を身に付けようって思ったら、すごくフランス語が楽になりました。

長く説明して分かってもらうことじゃなくて、ほんの一瞬、一瞬で、心に残る言葉を相手につたえようと思ったら、すごくフランス語が楽しくなってきました(笑)。

小岩 楽しくなる話といえば、僕が楽しくなったのは、まあそれは性格にもよるのかもしれないけど、古典的な単語カードを作っていましたね。表裏ドイツ語で。表にはまず覚えるべき言葉があって、その下にその言葉と自分が出会った瞬間の表現、それこそ映画だとか、この人がこんなこと言ってたとか、もちろん辞書に載ってる例文

とか、表現の例を書いておく。裏にはドイツ語で説明。で、それを全体積み上げると最終的に 50 センチぐらいになるんだけど、それをこう 1 センチ分、今覚えたい言葉を持ち歩いて、それでこれをドイツ人に見せるわけ。今こんなことやってんだよと。「おまえ変な言葉習ってんな」とか言いながら、「こういうのもあるよ」とか書き加えてくれたりする。

それはすごい楽しくて、そのカード今見れば、あ、これはどの脈絡で出てきたカードだって、まさに身体性からよみがえる記憶がありますね。

それでさきほど話したとおり「日本的な文法中心ドイツ語学習」をしてきたんだけど、自分は意外に話すの好きらしいっていうことに後で気が付いたんですね。それは本当に想像もしてなくて、後でドイツ語のディプロマなど語学力の資格を取るときに、「あなたは口頭試験はいいですけど、文法とか読解の理解が今ひとつですね」という、いわゆる日本人の評価とまるで逆の評価になっていたんですね、不思議なことに。

確かに話すのが好きなところはあるのでしょうか。それこそ先ほどの池上先生の話じゃないですけど、話すの好きな人は伸びますよね。

まさに 2 つの言語を 1 対 1 対応で翻訳してちゃ絶対追いつかない、溝口先生のさっきで言えば、スパッとそこでストライクのものを投げる方が大切。ドイツ語の両面カード作っていたのをつながら話なんですけど、そこで「通じる」楽しさが分かった瞬間、「まあ全部は分からないけどこういうことかなって返す」楽しさが分かったときに、ドイツ語を学ぶことが苦しみでなくなった。ドイツ語カードを持てるのが苦しみでなくなった、もっと増やそうと思いました。

溝口 すごいですね、ポジティブですごいわ。

永井 読む立場からいくとですね、さっき池上先生とか土肥先生とかがおっしゃっていた、文章を与えられて分かんない単語を全部引くレベルから、取りあえず、この言葉は分かんないけど、文脈から言ってこの程度の意味だろうから、今は飛ばしても大丈夫って読むようになったのが、向こうに行っている間です。大学院のゼミに出ていたんですが、ゼミだと周りの人たちの議論が全然分からない。

そんなことをやりながら、フランス語の研究書も読んでいたときに、ようやく単語 1 つ 2 つ分かんなくても、取りあえずこの章は読んじゃおうって読み方ができるようになりました。で、その後に、さっき神が降りてきたっていう言い方をしたのは、古文書を読んでたんで

すよ、手書きの。それで最初は、この形はこの字かなと思いつつ、1 つ 1 つ拾っていく、いこうとするんですけど、実はできないんです。

このかたまりは、この字で始まって、この辺にこの字があるから、この単語かなとか思いながら読んでいくと、文字に逆に分解できるっていう読み方になるんです。

それが、あるとき、その格好を見ただけで、ここにはあの単語が来るはずだ、これがそうだろうっていう。

溝口 ああ、パズルみたい。

永井 パッと浮かんで、なぜわたしはそう思ったんだろうと後から考えて、その縦棒の数とか数えると確かにそれなんですよね（笑）。

溝口 一体化していたんだね、情報が頭の中でね（笑）。感覚となって。

永井 なんせわたし、フランスに 1 年何カ月居た間、週に 4 日は、10 時から 5 時ぐらいまでは図書館に行ってお昼休みを除きひたすら手書きを読んでまして（笑）。

土肥 修道女みたいな生活（笑）。

永井 ほんとに禁欲的で、しかもしゃべらない生活で、だからいまだに会話は身に付いてないんですけど（笑）。

溝口 わたしと逆だな、ほんとに。

永井 でも手書きの読解やって、それができるようになって、なんか研究やっていけるかなっていう、そんなところまで来ました。

溝口 永井先生のフランス語ってすごく難しいフランス語を使いますよね。2006 年にパリに滞在中、永井先生もいらっちゃって、フランスの友人のレストランと一緒に食事しようという話になったんです。あそこ、どこでしたっけ？

永井 ムフタール通りです。

溝口 あありゅー・ドゥ・ムフタール。定番の自己紹介になったんですが、わたしたち柔道家は、スラングなんです。でも、永井先生はほんとにクラシックなフランス語（笑）で・・・

「ルーアンで古文書を読んでいます」、もう若い男の子引

いてました。(笑) やっぱ学者のフランス語だなとか思いましたよ、う～ん、すごい。

小岩 僕はね、出会いという点では、向こうのホストファミリーが家族みたいで、孫まで仲良くさせてくれたから、ありがたかったです。困るでしょ、子どもに会ったとき。

溝口 子ども語ありますからね。

小岩 いきなりさきほどの tu、つまりドイツ語では Du と Ihr の世界ですから。それで子どもの表現っていうのは、別ものと思っていたら、よくよく付き合っていくと色々な発見があるのです。子どもと話すとか開かれますよね。

溝口 う～ん、子どももそうですね。フランス語ができて、開かれたことは、黒人と話せるようになったことですね。フランス語ってアフリカ圏じゃないですか。それに、イスラム圏の人も話せるようになったんですよ。すごくコミュニケーションが広がったし、その知識もふくめて。

意外とフランス人だと話してくれないこと、日本人のわたしがフランス語を介して言うとか話してくれて、柔道のコーチとか、話しやすく日本人のわたしがフランス語を使うからこそ話せることとか、情報を得たっていうのは、すごい良かった。

2つ目はね、ニュースを聞けるようになって、英語と情報が違うことに気付きました。ちょうどイラクが秘密兵器を持ってる、いないかという時期がありました。そのときアメリカの FOX は秘密兵器は持っているというのに対し、フランスはずっと持ってないって主張していたんですね、フランス語のアルジャジーラを観て情報が違うことに気付きました。日本語の衛星テレビも見てたんですけど、同じテレビなのに情報が全然違う。フランス語じゃなかったら分かんなかった情報が得られたっていうのがよかったなって思った。

小岩 教師としての日常の話に突然戻りますけど、Wikipedia ってみんな使うでしょう。せめて自分の知りたい項目の日本語以外のヴァージョンを読みながら言うんです。

それは溝口先生の指摘と同じ理由です。同じ項目が2つの言語のヴァージョンできれいに対応してるときと、そうでないときがある。そこのところを見ると面白いんだっていうこと。学生の日常のレベルで今話を翻訳するとそうなるかなと思いますね。

土肥 僕は講義のはじめに導入として、そのとき旬のニュースをひっばってきます。日本で報道されているイタリアのニュースは、当然イタリアでの報道のされ方とは違う。それに気付くにはイタリアのニュースを読めなくてはいけない。イタリア語を知らなければイタリア語のニュースは読めません。いろんなソースがあれば、メディアの本質、さらにはコミュニケーション自体の本質が分かってくると思います。

僕は教える立場になって日が浅いです。イタリア語初級を教え始めたのはこの大学に来てからだから、2009年からです。初年度はあまりうまくいかなかったなと思いました。結果は良かったんですが(笑)、自分としてはもうちょっとこうできたかなっていうのを次から試しています。

SUAC でのイタリア語の境遇は、インドネシア語と同じです。教員は1人、授業は週に2回、一年間やってそれで終わり。その上のコースはありません。だからできることは限られているので、さっきの話にでた1ページを5分で読むレベルには達しないけど、何言ってるかがわかるくらいにははしてあげたい。「わかる」という感覚を味あわせてあげたいと思っています。

「わからない」から入ってしまうのは当たり前なだけけど、実際はそうじゃなくて、すこしはわかるんです。そもそも外国語を理解するときに勘は重要です。感覚を研ぎ澄まさせて勘で理解します。ある特定の場合に人間が話すことはだいたいきまっています。きまりきったことしか言わない。

外国語で変わる人格・距離感

溝口 皆さんに伺いたいんですけど、インドネシア語とかフランス語とかドイツ語、イタリア語のしゃべるときの人格と、日本語のしゃべるときの表現とか人格って変わります？

池上 変わるね。

溝口 どんなふうに変わります？インドネシア語のときは・・・

池上 人と人の距離感の取り方が変わる。近くなります、圧倒的に。それにはいろんな要因があると思うんだけど、やっぱり自分がインドネシア語をライブで使った環境っていうのはインドネシアで、そこは人と人の距離感が近いんですよ。例えば日本でね、バス乗って、今こう肌出てるでしょ。これでこうベターっと付いてちょっと汗ばむと、髪かくふりして離すじゃないですか。

インドネシア、バスちっちゃいし、たくさん乗ってるからね、もうそのまんまベタって付いてる、それが当たり前って感じね。その距離感の感覚がまさに身体化されていて、人と話すときにもすごく近い。あとインドネシア語はね、語尾に、「そうですね、お父さん」とか、「そうですね、お母さん」みたいな、そういうのを付ける。

で、それが自然に付くようになると中級から上級になるんだけど。で、その感覚にインドネシア語の回路になると切り替わるから、ぐんと近くなる感じ。

永井 人格は変わりますよ。ただ、言葉のせいだけじゃないと思うのは、フランスに行ったら、街歩いているときの緊張度が日本と全然違うんです。それは何かあったらフランス語で、こちらの主張すべきは主張しなくちゃいけないっていうんで、かなり緊張していて、その分、性格もきつくなると思います。

それを留学してたときに自覚したのは、日本の友達が遊びに来た時で、そうすると、こっちが緩くなるんです。で、一緒にじゃあ出かけましょうって、駅に行って、その友達としゃべるときの緩さと、駅員さんと交渉したり、あと日本人女性2人連れだと、興味持って近寄ってくるようなやつなんかに対する態度で、すごいギャップがでちゃうんですね。その切り替えが自分の中でたいへんでした。

溝口 大変、う〜ん。そうね〜、フランスにいと戦わなきゃいけないね。

小岩 ああ、それで思い出したのはですね(笑)・・・4年半ドイツに居たんですけど、前半と後半があって、後半は妻と一緒にいたんです。彼女はドイツ語、ドイツに行くのも初めて、まあドイツ語はちょっとそれこそゲーテでやったとかそういう感じで、それで平日は2人いるときもドイツ語で話し、週末だけ日本語にすることにしました。ぶちぶち言われながら(笑)。週末になると緩んでいました。

日曜日の夕方になると、サザエさんやちびまる子ちゃん見てる子どもみたいな、そういう感じになって、ああ、あしたからまたドイツ語だよって、そういう気分になって、それでドイツ語の日々が始まる。

土肥 僕はひとりでイタリアに計8年住んでいましたが、はじめの3年間くらいは、何となく初年度の自分はこうだった、2年目の自分はこうだった、3年目はこうだったと覚えています。誰にとってもですが、はじめの3年はドラマチックだから。その後どうだったかと

言うと、ある程度年齢がいったので、もう人間はできてしまいました。とは言っても20代後半から30代前半、日本にいたって人間少しは変化します。いろんな要素を考えてみても、結局のところ、自分は自分でしかなかった。イタリア語を話すときモードが変わるかどうかはわからないけど、少なくとも、なにかのふりをする、ということはないでしょう(笑)。つまりぜんぶ自分ということでしょう。面白くない結論だけど。でも住みはじめてはじめての3年は、なにかのふりをしていました。

それとは別に、イタリア語を話すときは音程が変わりますよ(笑)。たぶん言葉がそう要求するんでしょう。ふだんよりも音程が低くなります。

それとやはりイタリアに勉強しに行ったから、永井先生と近いところがあって、話す力は副産物だと思ってたんです。だから、これだけ読めてこれだけ書ける、その副産物としてこれだけ話せる、というだけのことでした。おそらくプライド、意地のようなものでしょう。イタリアには階級があって、言葉遣いが違う。また、地方性が非常に強いから、話すイタリア語でどこに住んでいたかわかるんです。だけど僕のイタリア語からはまったくそういうのがわからない。それはね、意図的にそうしていました。僕がイタリア語を話すときは、どこか「ロボット」チックな部分ある。

それに東洋人としてイタリアに住んでいると、そうしたニュートラルなイタリア語が必要になってきます。東洋人である自分がまわりからどう思われているかよくわかっていました。パッと見ではまず旅行者だと思われちゃうし、どうせイタリア語なんて話せないと思われてしまう。だから初対面の相手に、自分の話すイタリア語の質によってどれぐらいの社会的レベルにいるかというのを示さなくちゃいけない。

溝口 うん、あるね、そういうとき。

土肥 それを毎回やらなくちゃいけない。パーッとまく



したてるシチュエーションはいつも同じなんです。言う内容はパターン化されていて、引き出しがあって、こういう相手にはこういうふうにしゅべり倒すというのは自動的に出てきます。

溝口 外国へ行くときって、必ず自分の自己紹介の文考えて行きます(笑)。なんか必ずそういう場面がある。パーティーの時、わたしたち夫妻が日本語でけんかしていることがありました。でも、そのけんかが、外のフランス人を見ると、隠語と言うか、やっぱり2人だけの世界でわれわれの悪口を言ってるんじゃないかと思うらしくて、じゃあそれをフランス語でやってくれて。フランス語でやったらもうすごいウケて(笑)。それからわたしたちのルールで、フランス人の前に居るときは日本語を話すのやめようってきめたんです。

フランス語でけんかすると全然角が立たない(笑)っていうことに気が付いて、いつもこう穏やかにいられました。フランスにいる間あんまり険悪な状況にならなかったのはフランス語のおかげだと思います(笑)。

小岩 うちはやっぱドイツ語のときはとんがってたんじゃないかな。「こういうふうに言ったら日本語だったら何とかなるのに」っていうような部分で、ドイツ語はスパッと別の表現で切らなきゃいけない。「いやんなっちゃうな、この不自由な言語は!」、そういうふうになりながらけんかしてるから余計めんどくさい(笑)。

でもまあ、基本的にはね、大変だったけどやっぱ良かった。普段話しているから、外に出たからといっていきなりドイツ語に無理やりしようというのは違って、自然でした。言語の選択ってというのはもうものすごいディプロマティックな問題じゃないですか。

溝口 そうですね〜。

小岩 別の体験ですが、フランス語、英語をしゃべるドイツ人と、フランス語、英語をしゃべるフランス人と僕、3人でいました。このドイツ人の人はフランス語がべらべら。ですからその場面はもう完全にフランス語でよかった、僕を無視すれば。けれども彼は英語でしゃべったんです。そしたら3人で話せるから。

この場合このドイツ人がキーパーソンで、彼がそこでフランス語に入っちゃったら、僕つまり「ドイツ語しか話さない日本人」は切り捨てる、ってことですよ。そのときに、言語を選択するってことは、その場でどういう意味を、大きな意味を持つかっていうことを思い知らされました。そのドイツ人に対して「あなたのおかげで孤立

しなかった」っていう感謝の思いです。

だからわれわれが海外で日本人同士つるんで日本語でしゃべっているとき、実は「現地の言葉が話せない、疎外された人々の集まり」とは限らなくて、現地の人々が疎外感を感じてしまう可能性もあるのです。だけどそのことに配慮した瞬間に、ものすごくコミュニケーションが広がる。それは複数言語を学ぶことの素晴らしいところですね。

英語に加えて別の外国語を学ぶことのメリット

土肥 最後に、学生に向けて言いたいことを言っておきましょう。イタリア語を教えるときに、姿勢として、英語だけじゃないよと強調しておきます。まず外国語とは英語だと思っている、まあそれはそれでいいんだけど、そこから相対化していかなきゃいけない。特に問題なのは、英語話せる人が偉くて、わからない人が劣等感を持つという図式です。

結局、何で外国語を学ぶかということですが、そういった疎外とか排除とか優劣というものを極力なくすためでしょう。日本だと英語をしゃべる人が偉いとされてしまって、まるで田舎根性まるだしの国ですが、イタリアも似ています。英語を話せる人はちょっと偉そうな顔します。

でもそうではなくて、外国語を学ぶ、1つでも2つでもいい、とにかくそれによって、排除という考え方をなくしていく姿勢をもつ。だから僕は言いたいです、英語だけじゃないよと。

みなさん学生に向けて言っておきたいことがありますか？

池上 今の話との兼ね合いなんだけど、わたしはインドネシア語の授業担当してないんですが、インドネシア語も2年生以降の1年間、週1回、しかも2コマ続きでね、極めて語学の学習環境は良くありませんが、幸いインドネシア語そのものは、初級の文法レベルが難しい言葉じゃない。まあ単語はそれほどなじみがないんだけど。だから使い回せば使える言葉なんですね。そこで今の話をさらに敷衍するとね、要するに英語を対面する鏡とすれば、英語という鏡に映して日本語を見るわけだ。でももう一つの言語があるとね、合わせ鏡のようになるわけです。つまり、鏡がもう一つあることで、ふだんは見えない後姿をこっちに映すとかね、そんな面もあるのかなと。だから、その言葉そのものが実質的にそんなに使い物にならなかったとしても、もう一つの合わせ鏡を持つことで、自分の姿をより立体的に見ることができる

うと思っている。

それからものすごく現実的なメリットとして、実は昨日湖西市のある工場に行ったんですね。うちのゼミのOGが総務で働いてるんだけど、彼女はインドネシア語勉強してて、それも卒業後独学で勉強して上達した部分が大いんだけど、今研修生で受け入れてるインドネシア人の担当でね。たとえば病気になったとき病院連れていきますよとか、もうなくてはならない人材となっているの見て、地元でインドネシア語がある程度使えればと案内役に立つこともあるんだと。そこから先自分で勉強しなきゃいけないけど、人の役に立てる言語だなんていうのを感じました。

永井 自分にとってのフランス語のメリットは、習い始めて最初、逆に英語が分からなくなるんですよ。フランス語の方が文法的にしっかりしているし、つづりと発音の関係も割と規則的にできてるので、フランス語が良くなって英語が分かんなくなる。それで、まず英語がすべてじゃないってということと、それから、いろんな成り立ちの言葉があるって分かることですかね。わたしはちなみにラテン語とギリシャ語、ドイツ語もやりました。ロシア語は挫折して、ローマ字使わない言語は駄目かなと思っただけですけど(笑)。

そうすると、いろいろな言語に対して、例えば前に池上先生がエウニセ先生と作ったパンフレットのポルトガル語を見て、なんか分かるかも思ったり、そういう可能性が広がったと思いますね。

小岩 複数っていうのは大事ですよ。それで別にヨーロッパの言語2つじゃなくてもよいでしょう。今、永井先生がおっしゃったのと同じことが僕にも起きて、僕はドイツからイギリスに語学留学に行った。ドイツ語しかしゃべれない日本人ってまずいんじゃないかなと思って(笑)、2ヶ月の語学コースに行きました。「なんだ、あのドイツ語しゃべる日本人は」みたいな目で見られました(笑)。それは英語っていう言語の特性を知るためにも大事だったし、ドイツ語と合わせ鏡とするためにも大事だった。日本語をあらためて見るためにも大事でした。やはり複数の言語を学ぶのは大切です。「外国語＝英語」っていうのはほんと問題です。微笑ましいけど、ちびまる子ちゃんの話知っていますか? 「ちびまる子ちゃん、フランス料理を食べに行く」っていう回で、「いやー、まる子はフランス人がうらやましいよ、こんなおいしい料理が食べれて英語がしゃべれて」っていう(笑)。この典型的静岡県民・・・(笑) 外国と言えば英語。で、「外国」に実は複数の文化がある、っていうのはほんとに大

事なことだと思います。

溝口 わたしは機会があればほかの言語も話したいなと思いつつ、全然広げていません。語学ブックレットを見て、これもこれも習いたって思いました。いつも語学ガイダンスで面白そうって思うんだけど、やはり時間がないです。今学生の皆さんはやっぱりそういった学ぶ時間がある。それに語学は表現法だと思うんですよ。複数言語をたくさん学んだ分、表現する引き出しがすごく多くなる。フランス語で言うそのje t'aimeも、ほかの国での愛してるだと、やっぱりまた違う感じ方をするんじゃないかって、自分自身でも。日本語で愛してるって言われるのと、フランス語でje t'aimeって言われるのとは、同じ自分なだけで絶対違うはずですよ。言葉って表現力、増えれば増えるほど表現力が増えてくと思うんで、ぜひ複数言語を学んでほしいですね。

土肥 初級の学生には「話したいと思ったら質問しろ」と教えています。もちろん自分のことを言うのも大切なんだけど、相手への関心を常に示さないと駄目です。

まだまだみなさんいろいろあるでしょうが今日は座談会に参加いただきありがとうございました。

まだまだあるぞ、外国語

語学の授業として開講されていなくても学ぶべき言語の例として、トルコ語とベトナム語を紹介します。

もし興味のある人、もっとこれらの言葉について知りたいという人は直接先生方の研究室をノックしてみるとよいでしょう。

トルコ語 Türkçe

徳増克己

トルコ語は、アジアとヨーロッパにまたがって存在しているトルコ共和国の公用語です。トルコ共和国の総人口は7000万人余りですが、クルド人をはじめ少数民族も多く、日々の暮らしにおいてはトルコ語一色の世界ではありません。他方、ドイツなどヨーロッパ諸国には第2次大戦後に移民として流入したトルコ人の社会が存在するため、国外でもそれなりに使用されている言葉です。また、中国領新疆ウイグル自治区にいたるユーラシア中央部には〈テュルク諸語〉と総称される同系統の諸言語の世界が広がっています。(というよりも中国の北方にいたテュルク系遊牧民の定着先の西端が現在のトルコ共和国一帯であるといった方が正確な言い方になります。)

現代トルコ語はオスマン帝国で用いられていた〈オスマン(・トルコ)語〉の直系の子孫に当たりますが、以下の点で大きく様変わりしています。(なお、誤解している人が非常に多いため一言ふれておきますが、中東の主要言語たるアラビア語・ペルシア語・トルコ語の3者はまったく異なる系統の言語で、特にアラビア語と他の2言語とは文法的には日本語と中国語ほども互いに似通ってはいません。)

- 1) 従来のアラビア文字による表記を廃してラテン文字に移行しました。これについては、①母音の豊かなトルコ語の表記に向けた文字体系の採用(アラビア文字では一般に短母音は文字として表記されない)という言語面での意義、①イスラーム文明との訣別と西欧文明への接近という政治面での意義の両面を指摘することができます。
- 2) アラビア語やペルシア語起源の単語を新語に置き換える〈トルコ語純化運動〉が推進されてきました。採用された新語には民間に伝わる語彙や他のテュルク諸語からの語彙を取り入れたものもありますが、

トルコ語の造語法規則に基づく新造語や(主としてフランス語起源の)外来語の占める比重が高いという特徴があり、100年前はおろか50年前の文章も現代のそれとは使われている単語が相当異なります。この〈運動〉の結果、現代トルコ語の話し手が(大多数がイスラーム教徒である)アラブ人やイラン人などのコミュニケーションをとることは一段と困難になりました。

現代トルコ語は、単語を並べる順番がおおよそ日本語と一緒にであるという元々の文法的な特徴や発音の難しい子音がないことに加えて、上で触れたような〈改革〉のいきさつもあって、中東の諸言語の中では日本人にとってもっとも学びやすい言葉となりました。(ただし、語彙がいたって豊富な言葉なので単語を覚えるのは大変です。)他方、今日のトルコ人とコミュニケーションをとるという以外の目的(たとえば歴史的な文献を読む、イスラームの勉強をするなど)をもって学ぶ人にとっては、そのままではあまり使いでない言葉であるのも事実で、目的に応じて語彙や文法や文字を学び直すことが必要になります。



ベトナム語 Tiếng Việt

岡田建志

Đại học Văn hoá và Nghệ thuật Shizuoka. これは「静岡文化芸術大学」を試みにベトナム語に訳したものです。ベトナム語の発音を日本語の仮名で正確に表すことは不可能ですが、仮に書いてみると「ダイ ホク ヴァン ホア ヴァー ゲ トゥアト シズオカ」のようになります。

日本語の中でベトナム語由来の語は極少数ですが、ベトナムの麺の一種フォー (phở) や民族衣装アオザイ (áo dài) などが比較的知られています。

ベトナム語は、ベトナムの人口の約 86% に上るベトナム人 (キン人) の言語であり、ベトナム国内はもとより、ベトナム以外の世界各地に定住するベトナム系住民のコミュニティでも使われています。アウストロアジア語族に属すると言われ、隣接地域の言語である中国語とは別系統ですが、語彙の面では中国からの影響が大きく、元をたどると漢字という語も多くあります。昔は漢字とチュノム (漢字を基にした民族文字) が使われていましたが、今はローマ字を基にした文字ですべて書き表されます。冒頭の「静岡文化芸術大学」のベトナム語訳のうち、Đại học (ダイ ホク) は「大学」、Văn hoá (ヴァン ホア) は「文化」、Nghệ thuật (ゲ トゥアト) は「芸術」をそれぞれベトナム語漢字音で読んだものです。

ベトナム語初学者にとって、まず印象に残るのはその発音でしょうか。そしてまた学ぶ上で難しく感じられるのも発音でしょう。日本語を母語とする者にとって難しい母音や子音があることに加えて、声調の存在がベトナム語の発音を一層難しく感じさせています。声調とは声の高低や上昇・下降等の調子のことです。ベトナム語では母音・子音がすべて同じ配列でも声調が違えば別の単語なので、学ぶ上で声調の習得は必須です。声調は中国語やタイ語等にもあり、必ずしも珍しいものではありません。ただ、ベトナム語の場合は、声調の種類が比較

的多い (標準的とされている発音で 6 種類ある) こと、およびそのうち 2 種類は声の高低・昇降だけでなく声門を閉じる現象も伴うことから、声調を正確に習得して聞き分けもできるようになるのは容易ではありません。

このように発音はベトナム語の入門段階におけるかなり高いハードルですが、発音以外では比較的学びやすい点もあります。上で見たように文字はローマ字を基にしていて、発音と綴りの関係もおおむね規則的です。文法は細かく見れば注意すべき点も多いのですが、日本語の「来る」→「来い」や英語の「foot」→「feet」のような語形変化が一切ないので、語順を覚えれば文を組み立てられます。また、上述のように語彙の面では漢字に遡れる語が多く、漢字を知っている者にとっては学習上大きな手がかりとなります。

以上、ベトナム語の特色をいくつか紹介しましたが、ベトナム語について更に知りたいという読者は、下記の書籍やウェブサイトを参照してください。

ベトナム語の特徴を更に詳しく知りたい。

⇒田原洋樹『ベトナム語のしくみ』白水社、2005 年。

ベトナム語を聴きたい。

⇒NHK World の Radio Japan Online の Vietnamese (http://www.nhk.or.jp/nhkworld/english/radio/program/16lang.html から入る)

学生による学生のための「外国語ノススメ」

～先輩はこうやって勉強した～

外国語の学習にゴールはありません。大学で履修できる時間数も限られています。けれど努力を惜しまず能率よく学んでいけば、外国語はものにすることは決して夢ではありません。皆さんがこれから読むエッセイの書き手は、外国語を学ぶことに喜びを見出し、成果をあげていった先輩たちです。

学んだ言語はそれぞれ違いますが、面白さを見出す、こつこつ取り組む、あきらめないで継続する、さらに、授業のクラスの外にも飛び出してみる、積極的に使ってみる、という点は皆に共通しています。先輩の学習術をしっかりと参考にしてみましょう。

英語

大学では英語の“応用編”を学ぼう

有馬 望

文化政策学部国際文化学科 2007年入学

国際化が進む中で、世界中で広く使われている英語の力が求められる時代になりました。日本国内でもユニクロや楽天など、社内の公用語が英語になっている会社も見受けられます。このように英語力の必要性を強く感じたことやもともと英語が好きだったことから、大学でも英語を学び続けることを決めました。

高校までの授業とは異なり、ネイティブの先生やまた日本人の先生であっても授業中は基本的に英語です。どの授業も先生の話聞いてノートを取る受身の授業ではなく、発表したり、ディスカッションをしたり、自分から参加していくことができます。最初から難しいことをやるわけではありません。なので、英語が苦手な人でも安心して受講できると思います。英語表現技法や英語上級3では、英語のエッセイの書き方を学びます。英語で文章を書くことは、なかなかハードな作業ですが、英語的思考力がつき、文章を読むにあたって役立ちます。また、私はディプロマコースを受講しました。この授業は英語ネイティブ教員による週2時限の集中特訓コースです。レベルも上がり、決して簡単なコースではありませんが、

より一層の語学力の向上を目指すことができます。ただ“英語を”学ぶのではなく、プレゼンテーションの方法やPCの使い方まで“英語で”学ぶことができる授業です。

SUACには、語学留学制度も整っています。私も、アメリカにあるフィンドレー大学へ8カ月留学に行きました。アメリカ人はもちろん、中国人や韓国人、サウジアラビア人などたくさんの留学生と出会う中で、英語が世界で広く使われていることを実感し、英語を通して自分の世界を広げることができたと感じています。

英語以外にも多くの国で使われている言語はたくさんあります。しかし、私たちはすでに、中学、高校と6年間も英語の基礎を学んでいるのです。大学で、英語の応用編を学んでみませんか？SUACであなたの英語力はまだまだ伸ばすことができるでしょう。

ドイツ語

どんなきっかけでもいいから、まずは始めて

森 歩美

文化政策学部国際文化学科 2008 年入学

私は高校生の頃にドイツを訪れたことがきっかけで、ドイツ語、そしてドイツという国に興味を持ちました。SUAC に進学し、“せっかく国際文化学科に入ったのだから何か英語以外にも外国語を学びたい”と思っていた私は、迷わず一番関心のあったドイツ語の履修を決めました。

講義ではテキストを用いた文法や日常会話の勉強はもちろん、DVD・CD でドイツの文化や音楽に触れることができます。'08 年度までの入学生が履修することができたドイツ語上級では、オペラを題材にした絵本やドイツ語の新聞記事の翻訳を行いました。ドイツ語コミュニケーションは毎年履修者が少人数なので、学生は先生にどしどし質問ができますし、先生が一人ひとりに丁寧に教えてくださいます。“ドイツ語は興味があるけどなんとなく難しそう…”とと思っている人は、ぜひその“興味”や“気になる”という気持ちを大切にしてください。ドイツ語を始めるきっかけは人それぞれです。例えばドイツの文化、音楽、芸術、スポーツ、歴史、観光地 etc に興味があるなら、それを講義中に先生に聞いてみるのもいいでしょう。それらのテーマから派生したドイツ語の学習もおすすめです。

私は SUAC でドイツ語を履修し、ますますドイツ語に惹かれたので、学外のドイツ語教室に通っていました。社会人ばかりの教室でしたが、SUAC のドイツ語履修で培った文法の勉強がベースとなり、理解が進みました。正直、社会人に囲まれてのレッスンは不安もありましたが、基礎的なドイツ語を SUAC で学んでいたことで遅れをとらず授業についていけたので自信ができました。

ドイツ語の履修に限ったことではないですが、あまり興味・関心のない外国語を履修し、それを時間をかけて学んでいくのと、自分が少しでもおもしろいと感じて自主的に勉強に取り組める外国語では、習得のスピードが歴然と変わります。ぜひ自分の興味のある外国語を選んでみてください。外国語の履修はあなたの世界を広げる素敵な第一歩になるでしょう。

フランス語

大学院での学びにもつながったフランス語

西 夏希

文化政策学部芸術文化学科 2010 年卒業
同年大学院文化政策研究科入学

フランス語との出会いは、約 3 年前のこと。ある方の「これからは英語以外にもう一ヶ国語を話さなければいけない」という言葉がきっかけだ。当時、学部 2 年生であった私は、外国語の必修単位を全て英語で取り終え、語学のことなど全く考えずにいた。そうした状況で、この言葉が自分の中で強烈に響いた感覚を今でも思い出す。なぜフランス語であったかと言えば、過去のフランス旅行が思い出されて…という何とも不真面目な理由であったように記憶している。

しかし、一見適当な理由のように見えるこの選択が、どうやら間違っていなかったと実感したのは、大学院の入試を控えた 4 年生の夏であった。修士論文研究テーマを「パリ万国博覧会(1867 年)における日本出品」に設定、フランス語の読解が必須になったのだ。重点は「日本側」に置くことになるが、そうは言ってもパリ万博を扱う以上、フランス語文献は必読であろう。

そうして考えてみると、フランス語学習が自分の研究テーマに広がりを持たせた、と言える。もし、あの時フランス語を始めていなければ、修士論文でのこのようなテーマ設定は不可能であった。取り扱える範囲が多少なりとも広いということは、今後の研究を進める上では武器に成りうるだろう。

ここまで「研究」における外国語学習といった側面から少々重い話をしたが、このことは論文のテーマ設定といった堅苦しい話に限った話ではない。街に溢れるフランス語が少し読めるだけで、全く分からない人よりは既にリードしているし、フランス語圏に旅行へ行くのも不安がなくなるはずだ。他の外国語にも同様のことが言えるが、そうした意味でも、英語以外にもう一ヶ国語を学ぶことで自身の行動範囲を大きく広げることができるだろう。より広い視野で、多面的に世界を見ることが求められる現代。外国語は、様々な「世界」を見る手助けをしてくれそうだ。

フランス語

英語以外の外国語学習で世界はもっとひろがる

五十嵐 駿介

文化政策学部国際文化学科 2008 年入学

あなたは英語をペラペラ話している人を見てかっこいいなあと思ったことはありませんか。自分にも出来たらいいなあと思ったこともあるでしょう。それを理想のままに終わらせないでください。

今の時代、インターネットを使えばほんの数分で外国の情報も得られます。しかし、それで本当に十分でしょうか。大学に、しかも複数の外国語を学べる大学に入ったのだから、今まで学習してきた英語力をさらに伸ばす努力ももちろん大切ですが、この機会を利用して、第二外国語として英語以外の新しい言語にチャレンジすることをお勧めします。

現在、僕は英語のほかにフランス語を学んでいます。学ぼうと思ったきっかけは、フランスの食べ物の紹介を交えた教科書に魅力を感じたことと、フランス語でやり取りをするメル友をつくるという目標に憧れたことです。僕は幸運にも南太平洋のタヒチに住んでいる大学生とメル友になり、夏休みを利用して一ヶ月間滞在させてもらうことができました。旅行でも語学研修でも経験できない貴重な体験をしたことを誇りに思っています。きっかけは何でも構いません。自分がおもしろそうだと感じた世界を少し覗いてみよう — その気持ちさえあれば十分です。

最初は習うことすべてが新しくとまどいますが、毎回の復習や課題をこなしていけば確実に力はついていきます。テレビやラジオの語学番組も知識の幅を広げてくれます。また、語学研修にも挑戦し、フランス北西部のルーアンという都市にある語学学校に一ヶ月間通いました。授業はすべてフランス語ですが、レベル別にクラス分けされているのでちゃんとついていけます。語学研修は、学習したことをすぐに実践できるというメリットがあり、話すこと、聞くことは渡仏前に比べて能力が格段に上がったと実感しています。今までテレビ等でしか見たことのなかったフランスを、自分の目で見て、耳で聴くことによって新たな発見ができました。いずれの海外体験もアルバイトで貯めた資金を基にしました。

長期の休みを利用して海外に数週間滞在できるのは大学生の間だけです。もしそのような機会があるのなら、できるだけ長く滞在することをお勧めします。そして、どの言語を選択したとしても大切なことは「継続させること」です。努力を継続させてこそ理想の自分に近づけます。あなたも新しい外国語を始めてみませんか。

イタリア語

クレイアニメへの興味をきっかけにイタリア留学へ

竹田 悠子

デザイン学部メディア造形学科 2010 年卒業
同年秋からイタリア、ミラノ滞在

私は大学では主にクレイアニメーションを制作していました。ある時、ミラノで活躍しているクレイアニメーション作家の方（湯崎夫沙子さん）について知り、イタリアという国に興味を持ったことがイタリア語学習のきっかけです。3年時には友人4人でフランス・イタリア旅行を計画し、2週間かけてパリ、ミラノ、ヴェネチア、フィレンツェ、ローマを巡りました。言葉はほとんど分からないまま旅行していましたが、毎日ジェラートを食べ、ミラノのドゥオーモの上で昼寝して、長距離列車の切符を2度も買わされ、夜に水上バスでヴェネチアを一周し、もちろん美術館と遺跡にも行って、良くも悪くもイタリアを満喫し、とても魅力的な国だと感じました。そこで旅行を終えてから4年時にイタリア語を一年間履修し、同時に文化や習慣なども学びました。ローマではジェラートに生クリームをつけるとか、カフェラテは朝に飲むもの、といった話を聞き、文化や言葉や生活の違いがとても面白いものだと感じました。イタリア語を学んだのは、なんといっても留学を視野に入れていたからです。2010年秋からミラノに留学します。大学入学時には考えられなかったことですが、「イタリアでアニメーションを学びたい」という漠然とした夢が現実となります。ただの興味から、「語学を学ぶ」という行動に移したことで、私の人生は大きく変わりつつあります。



2010年3月卒業制作、「こねこね寿し」

ポルトガル語

楽しく学んでポルトガルへ語学留学

服部 信樹

文化政策学部国際文化学科 2008 年入学

私は SUAC で 1 年次からポルトガル語を学んでいます。私がポルトガル語を学ぼうと思った理由は単なる興味本位だけでした。なぜ、興味があったかという SUAC がある浜松にはブラジル人が多く暮らしておりポルトガル語が一番身近な外国語であり、普段からよく耳にしていた言語であったからです。

SUAC のポルトガル語の授業では、ネイティブの先生が発音から文法まで細かく教えてくださり、疑問に思ったことを質問する際もとても丁寧に答えてくださいます。先生方は日本語も大変良く理解されており、日本語で説明して下さるのでとても分かりやすいです。また、時折浜松市内のブラジルレストランでの食事会、ブラジル人のクリスマスパーティーといった行事が間に入るのもポルトガル語ならではの楽しみです。とにかく SUAC のポルトガル語の授業は楽しく学べるというのが一番の魅力だと思います。

私は 3 年次の夏休みに 2 ヶ月間ポルトガルへ語学留学しました。始めは現地の人々とコミュニケーションが取れるか不安でした。しかし、そのような不安は一瞬で吹き飛びました。ポルトガル人は皆穏やかで、気さくで、優しい人ばかりでした。ポルトガルで過ごした 2 ヶ月間は私にとって外国語学習に対する意欲を掻き立て、異文化に触れられた貴重な体験でした。時間が十分ある大学生の間に海外へ留学するのもお勧めです。

最後に、ポルトガル語に限らず何かしら外国語を学ぶことを勧めます。海外旅行時などちょっとした場面で役に立つことがあります。また、外国語の授業を継続して履修することで同じ言語を学ぶ仲間を作ることができます。SUAC には様々な外国語を学ぶ機会が整っています。一言語でも、複数言語でも良いので気軽にぜひ外国語学習にチャレンジしてみてください。

ポルトガル語

仕事でポルトガル語を使う毎日

清水 桃子

文化政策学部国際文化学科 2009 年卒業
財団法人浜松国際交流協会 (HICE) 勤務

私が大学時代に第二外国語として選んだのはポルトガル語でした。卒業し、現在は外国人のための日本語教室のコーディネーターとして働いています。友達に誘われて何気なく勉強を始めたポルトガル語が、今や仕事で欠かせないものになっています。

「Oi, tudo bem?」(お元気ですか?)

授業は、どんなに生徒が多くても先生が一人ひとりに声をかけて挨拶することから始まります。1 年目の「ポルトガル語コミュニケーション」では、本当に楽しく自然に、言葉だけでなくブラジル文化も身につけることができました。また、先生は覚えた言葉を実践できるようにさまざまなブラジルに関するイベントを紹介してくださいました。そこで自分が話した言葉が「伝わる」ことがうれしくて、毎日辞書を引きながら勉強したことを覚えています。

こうして上級クラスまで進んだ私は、勉強を始めて 2 年目にはすっかりブラジル文化に浸っていました。そして 3 年目でついにブラジルに行き、百聞は一見に如かずの言葉通り多くのことを学んで帰って来たのです。またそれだけでは終わらず、帰国後ブラジルレストランでアルバイトを始め、あたかもブラジルにいるかのような環境でポルトガル語漬けの日々を送っていました。その成果もあってか、日常会話には困らない程度のポルトガル語力を身につけることができました。

ここまで見ると、スムーズに習得したかのように思えますが、新たな言語を覚えるということはいいことばかりではありません。勉強していく中で辛い思いもたくさんしました。文化の違いから衝突したり、言葉(特に俗語)がわからずストレスを抱え、一時期一切ポルトガル語を話さなくなったこともあります。しかし、逆に摩擦はステップアップのために必要なことなのだと考え、積極的に摩擦を受け入れるようになったときに、話すことが楽しいと思えるようになりました。

現在は日本語がわからない南米系学習者と毎日のようにポルトガル語で話しています。また、プライベートでもブラジル人の友達と毎週のように遊んでいます。

多文化共生の最前線を行く「浜松で」ポルトガル語を学び、ブラジル文化を学べるということはとても素晴らしいことですし、意義のあることだと思います。

「Boa tarde! (こんにちは)」の一言で、国際交流の一歩を踏み出すことができます! みなさんも日本の中の小さなブラジル社会に飛び込んでみませんか?

インドネシア語

私の大学生生活を大きく変えたインドネシア語

山崎利奈子

文化政策学部国際文化学科 2008 年入学

「なんでインドネシア語を学ぶの？」2年になり、それぞれ地域言語を選択した時、多くの友人から何度も聞かれました。私がインドネシア語を履修しようと決めた理由。それは、ちゃんとした理由があった訳でもなく、なんとなく惹かれていたということ。そして正直なところ、思い出づくりでした。せっかく国際文化学科に入ったのだから、国際っぽいことをしよう。そんな気持ちで学び始めました。

授業Ⅰ、Ⅱは主に、テキストやプリントを使い読み書きの練習、また映画を観てインドネシア語に慣れることから始まりました。履修者はゼロからのスタートなので、先生はとても丁寧に教えてくれます。わからないところがあれば、いつでも質問が出来る雰囲気であり、難しいところはわかるまで説明をしてくれました。

Ⅲ、Ⅳになると、自分で作文を書き発表や、長文読解などしました。この時期になると、難しく感じることも何度もありました。しかし、自ら文章を書いた後の達成感と、わかる単語が増えることの喜びの方が、ずっと大きかったです。

1年間の授業はあっという間に終わりました。それから私は2回、インドネシアのバリ島へ行きました。1回目は8日間のボランティアで行き、2回目は3週間のボランティア・語学研修で行きました。1回目のバリでは、ただバリ島を感じるしかできませんでした。せっかく勉強したインドネシア語を、試すこともあまり出来ませんでした。その心残りや悔しさで、2回目はホームステイをしました。たった3週間ではありましたが、耳が慣れ、多少は聞き取ることができるようになりました。語学は、授業のような机上だけの勉強だけでは、なかなか上達しないと思います。やはり、その土地に行って、現地の人々の生の言葉を聞くこと。それが大事だと思いました。人と人は心で通じ合えると思います。しかし、相手を知り、自分を知ってもらう為には、言葉が最も必要で重要だということを、強く実感しました。まだまだ勉強不足なので、これからも続けていくつもりです。

ただ思い出づくりで始めたインドネシア語ですが、気づいたらどっぷりハマっていました。少し過剰な表現かもしれませんが、インドネシア語を勉強して、私の大学生活は変わりました。インドネシアに興味がある、大学生活に刺激が欲しい人は是非履修して欲しいです。そして一緒にインドネシアに行きましょう!!!

韓国語

話すことをつねに心がけて

岡本 佳依

文化政策学部国際文化学科 2007 年入学

私と韓国語との出会いは高校生の時で韓国音楽がきっかけでした。大学に入学し、韓国人留学生と触れ合ううちに、もし自分が韓国語を話せたらもっとコミュニケーションが取れるのに・・・と思い韓国語を本格的に勉強し始めました。

大学の授業では母音、子音の発音など基礎を徹底的にやって下さいました。韓国語には日本語にはない発音があるのでその違いを理解するのにとても役立ちました。また、有名な韓国の歌の歌詞の文法を学んだのも印象に残っています。

そして私はもっと韓国語を究めたいと思い、韓国への留学を決意しました。留学中に心がけていたことは常に自分から話しかけるということです。机に向かって勉強することはもちろん大切だと思いますが、この留学で実際に話すこと、使うことが一番上達する近道だと感じました。私の通っていた湖西大学校では日本人学生は私1人だけだったので韓国語を使わざるを得ませんでした。初めは孤独も感じましたがそれも韓国語を上達させるのにはとてもいい環境だったと思います。

私は韓国語に出会って、韓国に親友と呼べるような友達ができました。彼女は留学中に私のことをすごく気にかけてくれて韓国では姉のような存在でした。帰国後もお互いの国を訪れたり今でも頻繁に連絡を取り合っています。また、韓国語を忘れないためにも韓国人留学生とは韓国語で積極的に会話をするようにし、韓国語の検定試験にも挑戦しています。

今、テレビドラマや韓国音楽など私たちの身近なところに韓国語はあふれています。韓国語は学びやすい言語だと思います。まずは韓国語の本を買って勉強するのもいいと思いますし、韓国人留学生と友達になるのもいいと思います。媒体は何であれ、とにかくたくさん韓国語・韓国文化に触れてほしいです。

中国語

継続は力なり

深沢めぐみ

文化政策学部国際文化学科 2008 年入学

私は当初、親に勧められたから中国語を専攻しただけでした。しかし二年生になってから、バイト先の中国人留学生の女の子に中国語で話してみたことがきっかけで、もっと上達したいと思うようになり、本格的に勉強し始めました。簡単な言葉でも、自分の中国語が伝わったという単純なことがとても嬉しかったのです。

普通の授業では本文を先生の後について繰り返し読むことがメインで、中国語を学び始めた一年生のころは、正直飽きてしまうこともありましたが、しかしそれがとても大切な作業なのだと思えます。中国語を学べば学ぶほど、聞いて発音することの重要さが分かってきたからです。はじめの時からもっとしっかり取り組んでおけば…と思うことさえあります。その他には先生が教科書にはない当て字の表現や、日本語と同漢字でも意味の違う単語を教えて下さるので、知るたびに面白くなって、「中国語への興味」という学習を続けるための原動力を与えてくれたと思います。そして家ででの学習では、授業の予習・復習を一度ではなく繰り返しやることから始めました。それから教科書のCDを使ってシャドーイングをしたり、中国語の番組を見るようにしたりと、毎日中国語に触れるよう心がけています。

このように当初は何も興味のなかった中国語でしたが、こうして学習を続けてきたことで、今では北京に短期留学に行くなど、自分にとって関わりの深いものになりました。目標を持って、続けて学習するものができることは自分にとって確実にプラスになっていると感じています。

中国語の学習をしていて一番うれしいことは、やはり中国人の友達が言ったことが当初より少しずつ分かるようになってきたことと、それを彼女が喜んでくれることです。「進歩したね。」と言われた時は、一年で学習をやめなくて本当に良かったと思えました。まさに『継続は力なり』なのです。まだまだほんの一部しか聞き取れなかったり、言いたい単語が上手く出てこなかったりと、自分のレベルの低さがもどかしいですが、これからも生活の中に中国語を増やして、こつこつと学習を続けて行きたいと思えます。

中国語

「友達」の意味

山本 雄一

文化政策学部国際文化学科 2008 年入学

私は、大学1年生の時から中国語の勉強を続けて、現在は中国ゼミに所属しています。なぜ中国語を勉強したと思ったかを話したいと思います。

アルバイト先に中国人の友達がいるのですが、その中国人の友達は日本語が上手でした。仲良くなり会話していると、逆に私もその友達に対して中国語で会話したいと思いました。中国語の勉強を始めた理由はそんな単純なものからでした。

大学での講義と併せて、アルバイト先で少し友達に中国語の会話練習に付き合ってもらおうというかたちで、二か所でコツコツと勉強を進めていきました。そんな中であったエピソードを話したいと思います。

アルバイトで中国人の男の友達に対し私は会話練習のつもりで、「你是我打工男朋友」と言いました。翻訳すれば、「あなたは私のアルバイトの男友達です」、そう言ったのですが、その友達は少し微妙な表情をしていました。実は私の言った文章では、中国の人は「あなたは私のアルバイトのボーイフレンド（彼氏）です」、という翻訳になってしまいます。なんとも気持ちの悪い文章になってしまいました(笑)。「朋友」は「友達」の意味ですが、「男朋友」または「女朋友」という単語になると「ボーイフレンド」、「ガールフレンド」という意味になります。だから私は「你是打工朋友」という文章を言うのが正解です。中国語の勉強を始めたばかりの時のエピソードでした。

講義で勉強したことをアルバイト先で、アルバイト先で経験したことを講義で活かせることは非常に面白いことでした。現在ゼミでは中国語の勉強も継続しつつ、中国文化についても勉強を進めています。

你好！謝謝！

山西 美裕

文化政策学部国際文化学科 2008 年入学

「こんにちは」や「ありがとう」は各言語の顔であり、代表するフレーズである。一般的に世界語と言われる英語に続き、日本人にとって知っている人が多いなじみのある言葉ではないだろうか。なんせ漢字である。你好！(ニハオ)これはこんにちはという意味だが、直訳すると「あなたいいね！」といったニュアンスか。こう言われていやな人はあまりいない。中国語圏に行って現地の人に你好！と言えばなんだか一気にその国を楽しめそうな気がする。一言で中国語と言っても、広い中国において方言や、各地方独特の言葉が存在する。台湾・香港はもちろんのこと、マレーシア・シンガポール・マカオなどにおいても中国語は公用語または同等の言語とされている。またアメリカはもちろん、オーストラリア・カナダなどを始め、かなり多くの国において「CHINA TOWN」が存在し、中国語が話されている。かなり少なく見積もっても中国語話者は10億人以上である。中国語を勉強することで世界人口60億人のうち、どれほどの人と話す機会がもてるだろうか。とても魅力的な言語に感じないだろうか。また英語には大文字や小文字、日本語には漢字・ひらがな・カタカナがあるが、中国語は漢字のみである。つまり外来語も漢字で表すしかないのだ。ここで私が台湾・台北での語学研修参加中に見つけたいくつかのおもしろい中国語を紹介してみる。

隠形眼鏡とはなんのことだろうか？袋怪獣…？よく漢字の意味を考えてみると答えが分かるはずである。隠形眼鏡、隠れた形の眼鏡？あれしかない。隠形眼鏡=コンタクトレンズである。袋怪獣、袋の怪獣？世界で大人気のポケモンである。これで中国語のおもしろさは伝わったのではないだろうか。中国語にはつい笑ってしまうような当て字がたくさんある。私には学べば学ぶほど楽しい言語に感じる。

最後にもう一つ。女神カカ？カは「カ」と発音する。女神カカ？ということは…。

*本ブックレットは、平成22年度静岡文化芸術大学学長特別研究費の助成により刊行されました。

一言語を学ぶ、世界を広げる—
SUAC 外国語履修のためのブックレット

2011年4月1日発行

静岡文化芸術大学 SUAC外国語プロジェクト・グループ

e-mail アドレス kokusaigaikokugo@gmail.com



S U A C

静岡文化芸術大学
SHIZUOKA UNIVERSITY
OF ART AND CULTURE